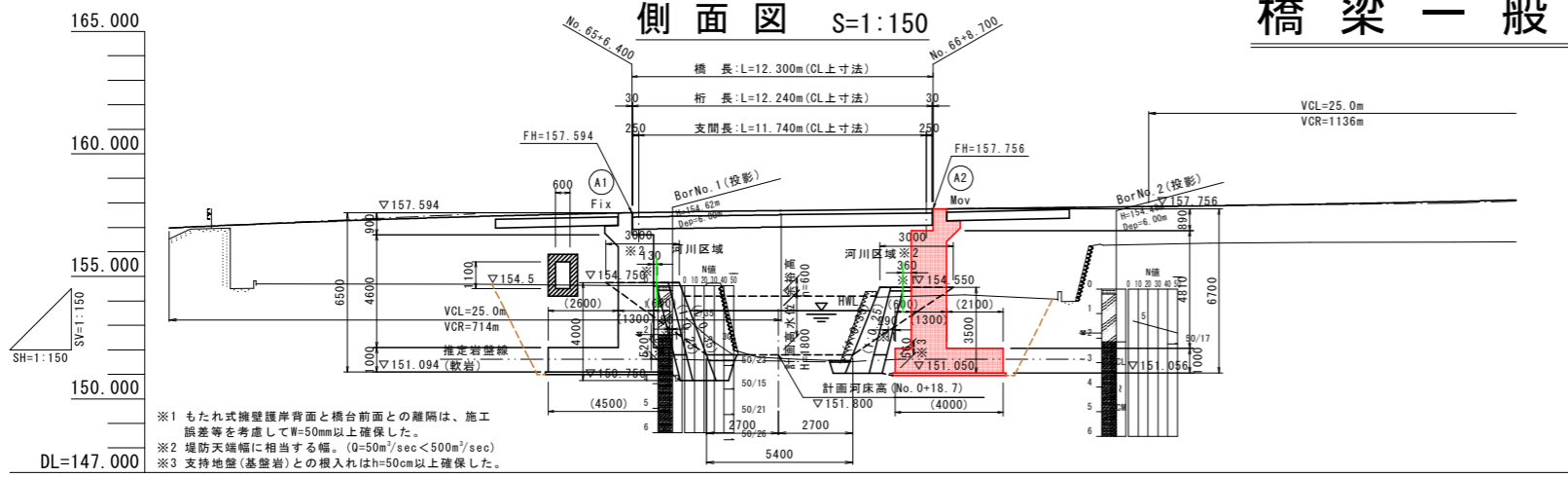
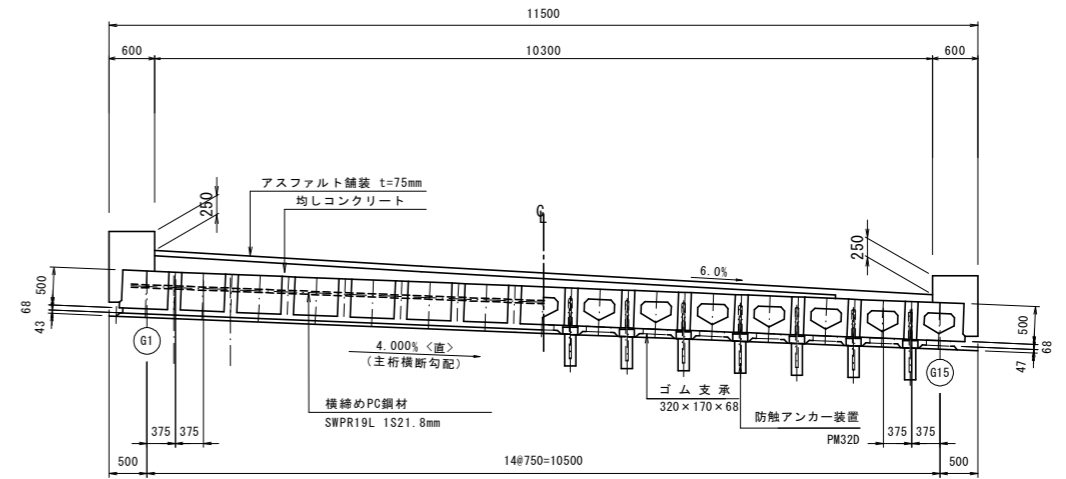


橋梁一般図

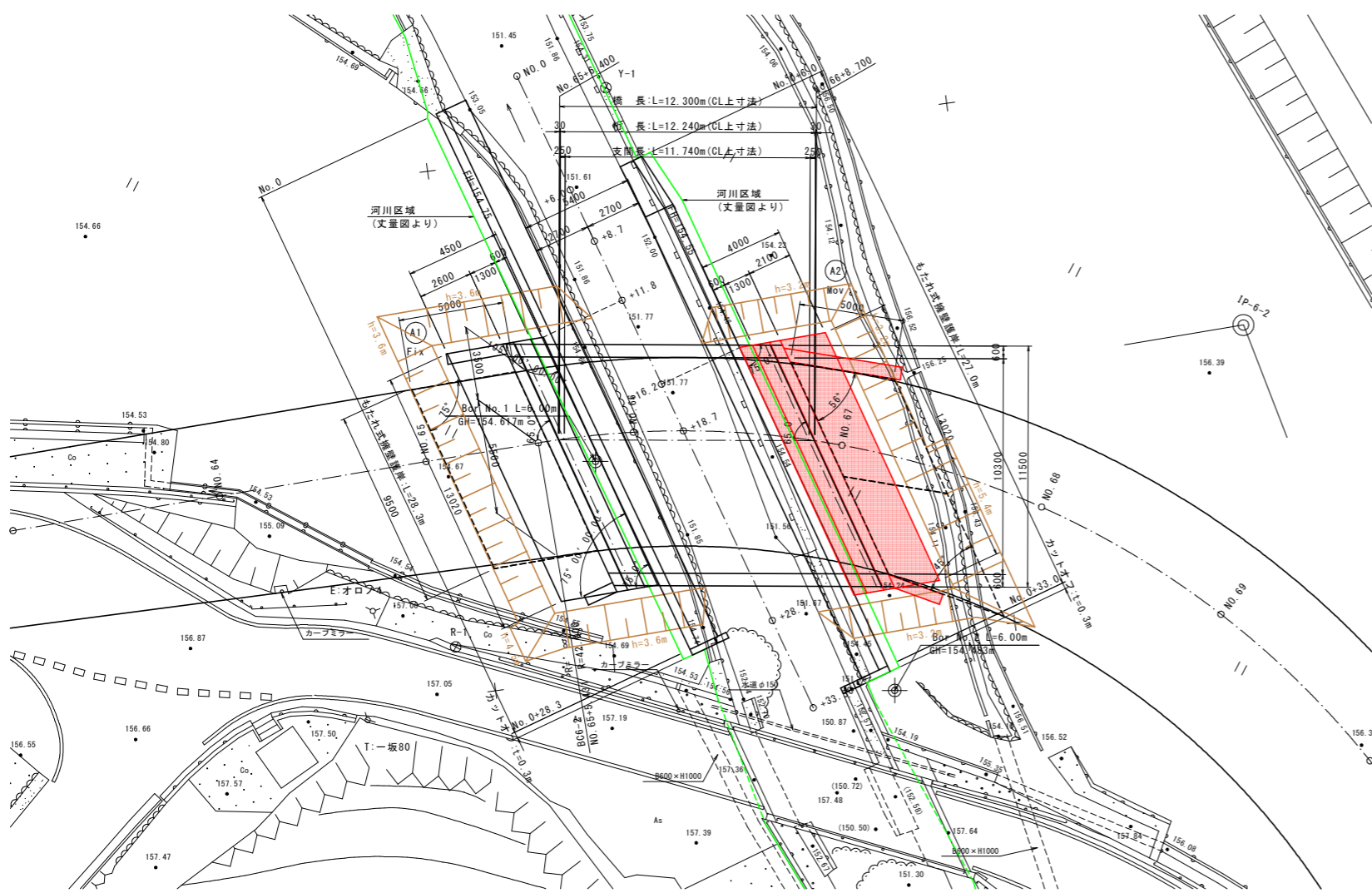


断面図 S=1:50



勾配	i=4.600% L=25.000m		i=1.100% L=40.000m		i=3.300% L=30.000m	
計画高	157.086		157.441		157.883	
地盤高	156.987		154.676		156.559	
点間距離	10.000		5.431		4.089	
測点	No. 64		No. 65		No. 69	
曲線			IP. 6-2 IA=78° 11' 25" TL=34.127 R=42.000 CL=57.316 SL=12.117			
片勾配	+5.0%(左側) -5.0%(右側)		+6.0%(左側) -6.0%(右側)		+4.0%(左側) -4.0%(右側)	
拡幅	KE. 6-1-2 (No. 61+3.000) 0.25m(右側)					

平面図 S=1:150

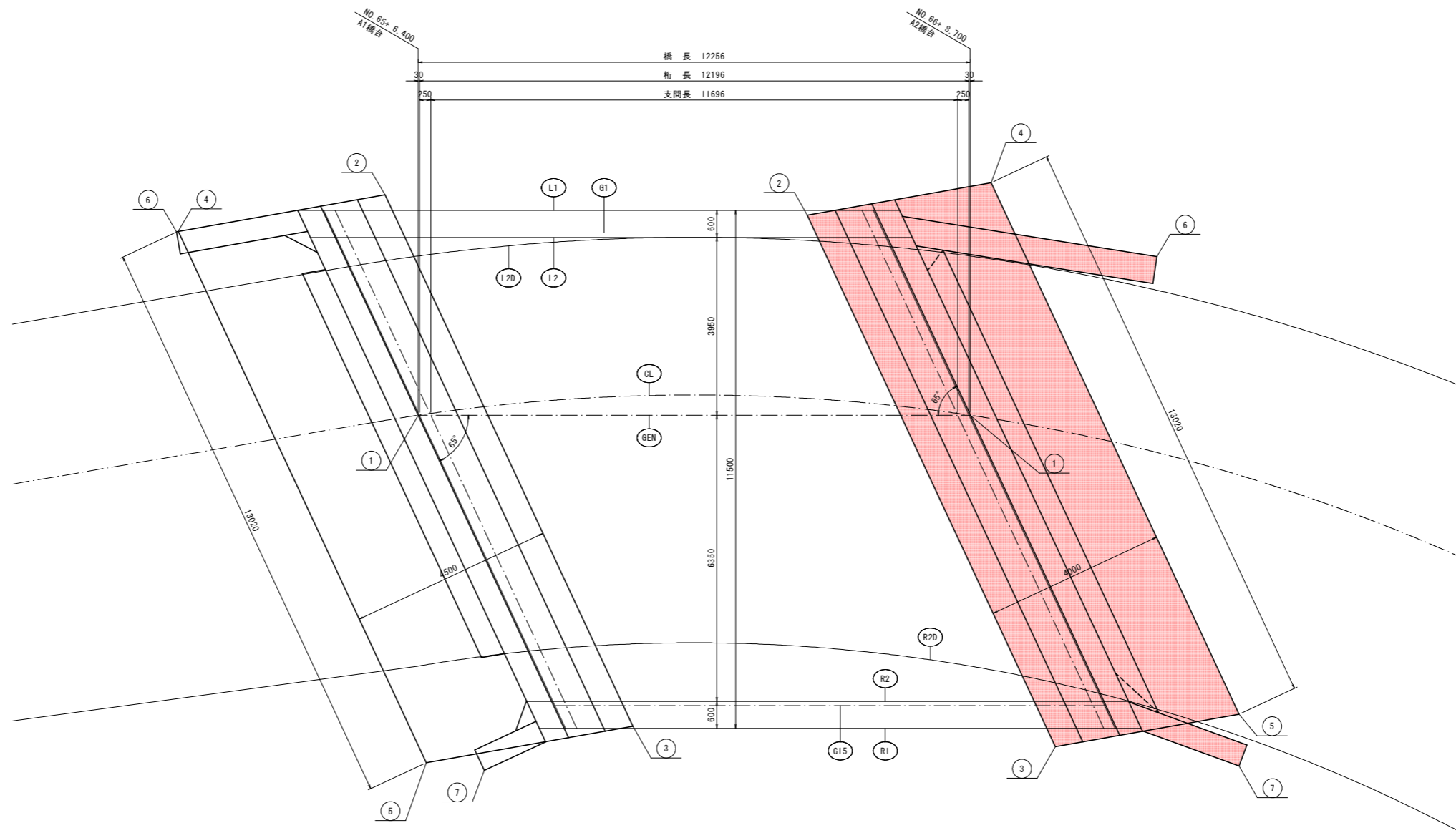


設計条件			
橋の重要度	A種	地盤種別	I種
道路規格	第3種4級 V=30 km/h		
橋長	12.300m		
桁長	12.240m		
支間長	11.740m		
形式	上部工	PC単純プレテンションホロー桁 (BS12)	
	下部工	逆T式橋台	
	基礎工	直接基礎	
幅員構成	10.300m (全幅 11.500m)		
斜角	A1橋台右 65° 00' 00"、A2橋台右 65° 00' 00"		
横断勾配	6.000%		
縦断勾配	1.100%		
設計水平震度	躯体 A1 Kh = 0.20 A2 Kh = 0.20 土砂 A1 Kh = 0.16 A2 Kh = 0.16		
舗装	アスファルト舗装 75mm		
活荷重	B活荷重		
材料強度	上部工	コンクリート	(主桁) 50 N/mm ² (場所打ち部) 30 N/mm ²
	下部工	コンクリート	24 N/mm ²
適用示方書	道路橋示方書・同解説 I. III. IV. V (H29.11)		

実施設計図面

工事名	R8徳土 鬼籠野国府線 神・鬼籠野ノ坂 橋梁下部工事(1) (着指)		
路線名等	鬼籠野国府線		
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野字ノ坂 (第1分割)		
図面名	橋梁一般図		
縮尺	図示	図面番号	1 / 16
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

下部工座標図 S=1:60



A1橋台

		X	Y
躯体	①	112086.488	85029.528
	②	112091.434	85029.454
	③	112079.003	85033.326
	④	112091.246	85024.799
	⑤	112078.816	85028.671
	⑥	112091.245	85024.755
	⑦	112078.478	85029.929
支承	G1	112090.716	85028.476
	CL	112086.490	85029.793
	G15	112079.655	85031.923

A2橋台

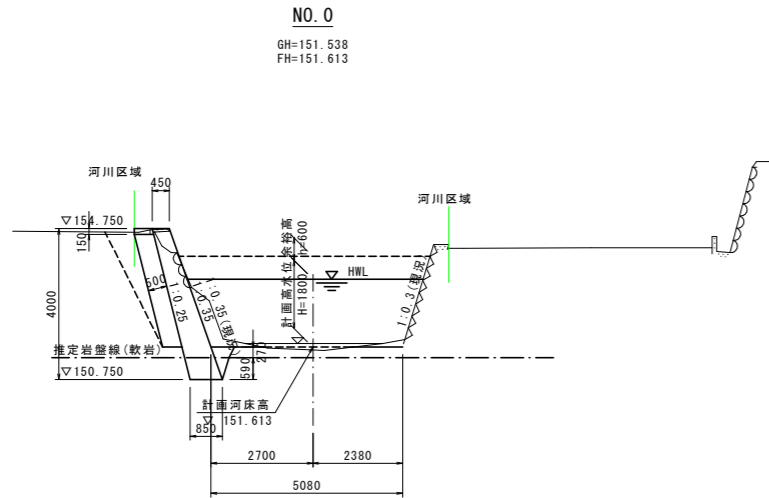
		X	Y
躯体	①	112084.846	85041.674
	②	112089.733	85038.685
	③	112077.302	85042.558
	④	112089.899	85042.823
	⑤	112077.469	85046.696
	⑥	112087.780	85046.254
	⑦	112076.329	85046.544
支承	G1	112089.150	85040.067
	CL	112084.929	85041.382
	G15	112078.089	85043.513

※ 施工前に、道路線形(中心線及び幅員線)と併せて各座標位置を確認すること。

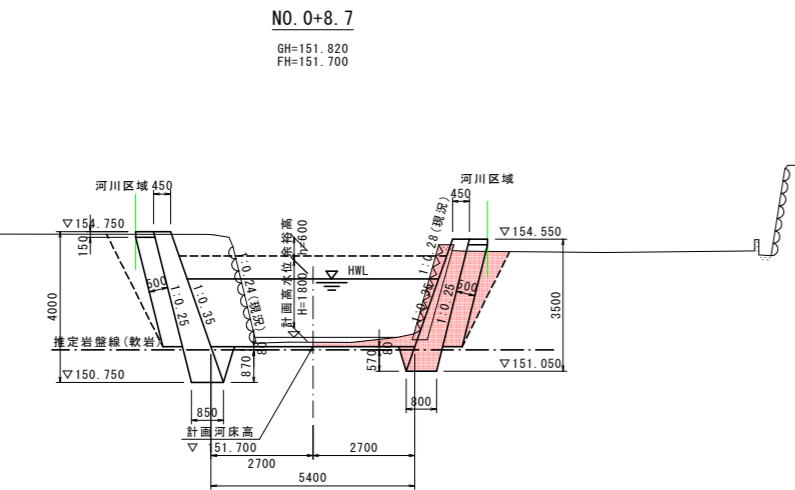
実施設計図面

工事名	R8徳土 鬼籠野国府線 神・鬼籠野一ノ坂 橋梁下部工事(1) (着指)		
路線名等	鬼籠野国府線		
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野字一ノ坂(第1分割)		
図面名	下部工座標図		
縮尺	S=1:60	図面番号	2 / 16
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

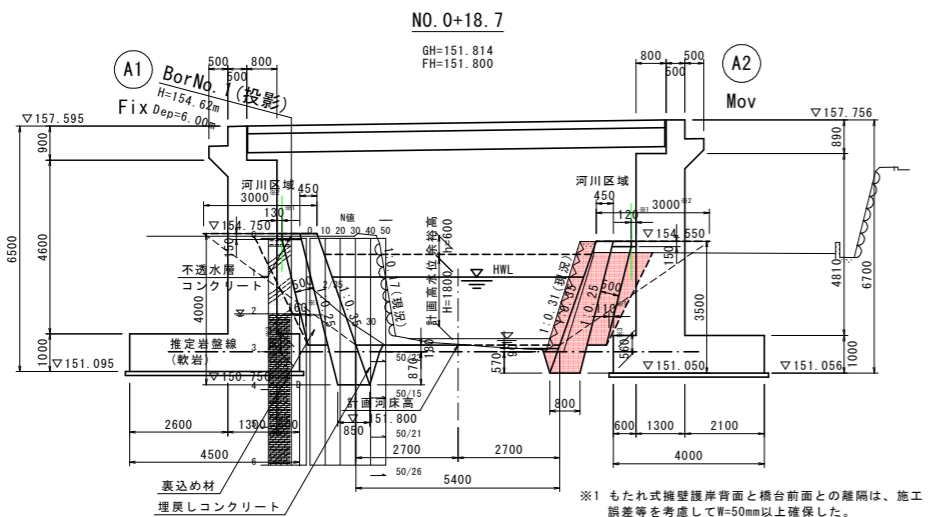
河川横断図 S=1:100



DL=145.000



DL=145.000



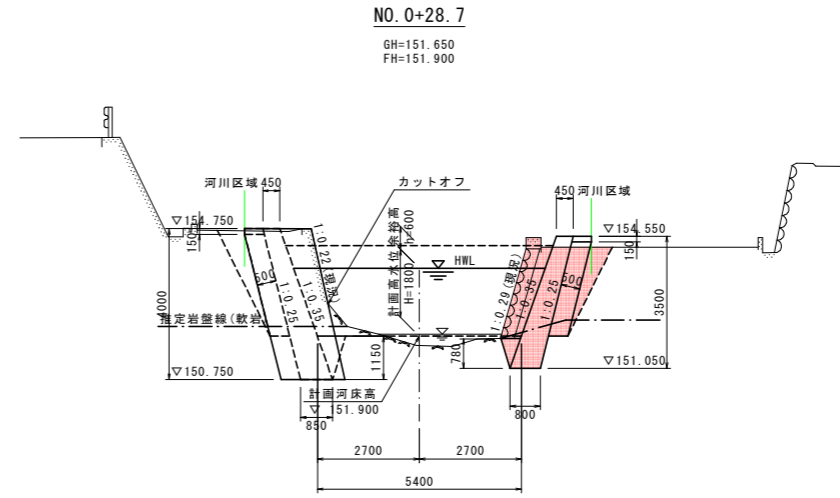
DL=145.000

※1 もたれ式擁壁護岸面と橋台前面との離隔は、施工誤差等を考慮してW=50mm以上確保した。
 ※2 堤防天端幅に相当する幅。(Q=50m³/sec<500m³/sec)
 ※3 支持地盤(基礎岩)との根入れはh=50cm以上確保した。

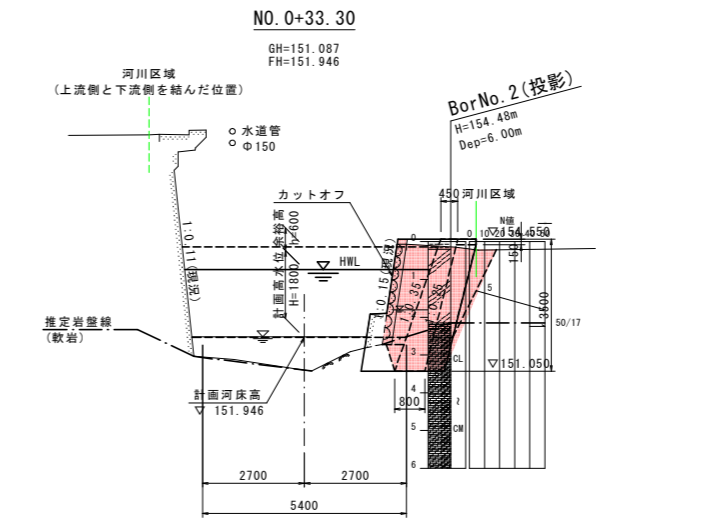
名称	断面数量	
	左岸	右岸
片切掘削 土砂	3.6	-
床掘	B 軟岩	0.9
	B' 土砂	-
埋戻 W1<1.0m	1.2	-
埋戻コンクリート	0.25	-
コンクリート取壊し	-	-
石積取壊し	1.32	-

名称	断面数量	
	左岸	右岸
片切掘削 土砂	6.8	2.9
床掘	B 軟岩	1.1
	B' 土砂	0.8
埋戻 W1<1.0m	1.1	0.8
埋戻コンクリート	0.29	0.14
コンクリート取壊し	-	1.0
石積取壊し	2.94	-

名称	断面数量	
	左岸	右岸
片切掘削 土砂	6.5	2.5
床掘	B 軟岩	1.2
	B' 土砂	0.7
埋戻 W1<1.0m	1.0	0.7
埋戻コンクリート	0.36	0.14
コンクリート取壊し	-	1.4
石積取壊し	2.79	-



DL=145.000



DL=145.000

名称	断面数量	
	左岸	右岸
片切掘削 土砂	5.3	3.4
床掘	B 軟岩	1.3
	B' 土砂	0.7
埋戻 W1<1.0m	1.0	0.7
埋戻コンクリート	0.43	0.20
コンクリート取壊し	-	0.1
石積取壊し	-	2.78

名称	断面数量	
	左岸	右岸
片切掘削 土砂	-	4.3
床掘	B 軟岩	1.1
	B' 土砂	0.7
埋戻 W1<1.0m	-	0.7
埋戻コンクリート	-	0.17
コンクリート取壊し	-	0.1
石積取壊し	-	2.78

設計条件: もたれ式擁壁護岸

擁壁本体	擁壁高	H ≤ 4.0m
	コンクリート設計基準強度	σ _{ck} ≥ 18N/mm ²
	コンクリート単位体積重量	γ _c = 23.0kN/m ³
荷重	上載荷重	q = 0.0kN/m ² (耕作地のため無し)
	水位	H = 2.95m (HWL: h = 1.8m)
盛土材	種別	購買土: C1材相当(購入土)
	単位体積重量	γ _t = 20.0kN/m ³
	内部摩擦角	φ = 35.0°
	粘着力	c = 0.0kN/m ²
支持地盤	種別	軟岩: D級 ~ CL級 (調査ボーリング結果)
	摩擦係数	μ = 0.70 (岩盤)
	付着力	c = 0.0kN/m ²
	地盤反力度	qa = 300.0kN/m ² (軟岩)
設計基準	(社)日本道路協会: 道路土工 擁壁工指針 平成24年7月	

留意事項

- 設計条件を変更する場合は、監督員と協議を行い設計計算を実施すること。
- 盛土材は、設計定数を満足する材料を使用すること。
(購入土以外の場合は、土質試験を実施し設計定数を確認すること。)

河川条件

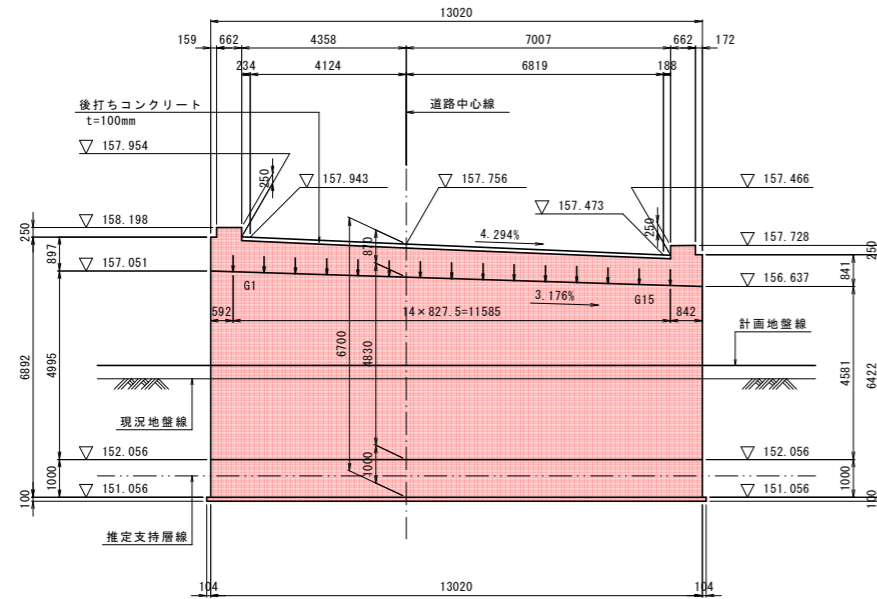
検討年度	令和2年度
河川名	大地谷川
指定地等	指定地等該当なし
確率年	1/30
計画流量	Q=50m ³ /sec (Q=49.9m ³ /sec)
河床勾配	i=1/100
粗度係数	コンクリート: 0.015 河床: 0.027
計画高水位	H=1.80m (H=1.721m)
余裕高	h=0.60m (Q<200m ³ /sec)

実施設計図面

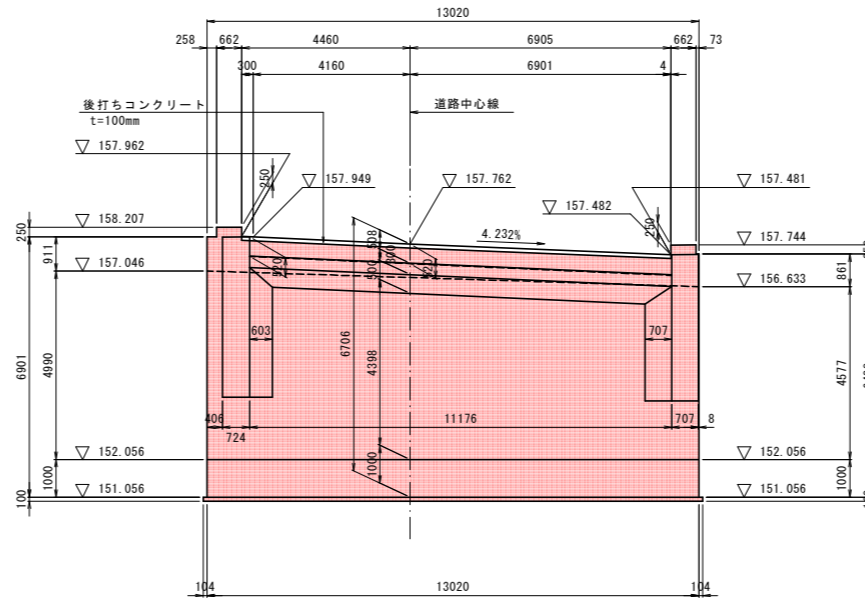
工事名	R8徳土 鬼籠野国府線 神・鬼籠野ノ坂橋梁下部工事(1) (着指)
路線名等	鬼籠野国府線
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野ノ坂(第1分割)
図面名	河川横断図
縮尺	S=1:100 図面番号 3 / 16
会社名	
事業者名	徳島県土整備事務所

A2橋台構造一般図(その1) S=1:100

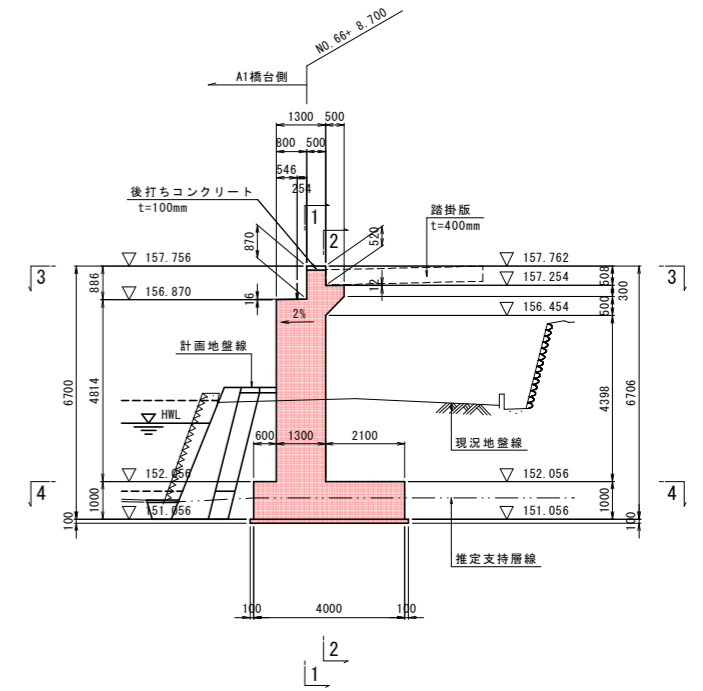
1 - 1



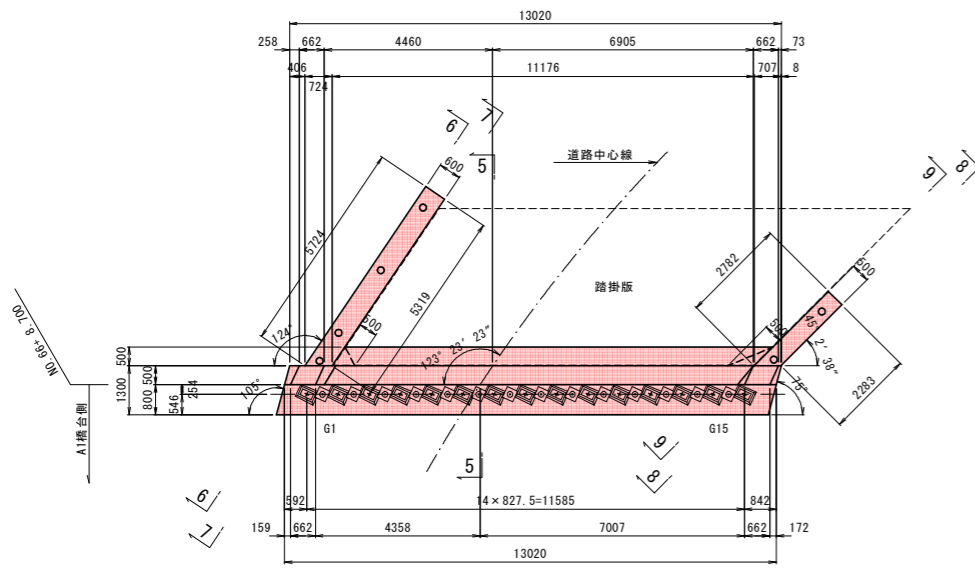
2 - 2



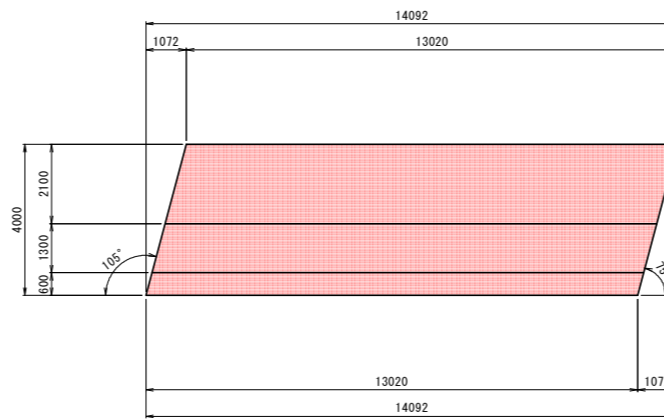
5 - 5



3 - 3

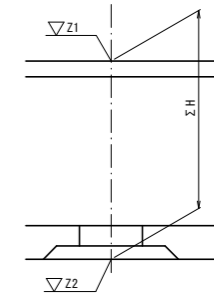


4 - 4



下部工構造高表(A2)

		G1	CL	G15
計画路面高	▽Z1	158.198	157.752	157.710
舗装厚	t1	0.556	0.251	0.436
桁高	t2	0.500	0.500	0.500
支承高	t3	0.068	0.068	0.068
モルタル厚	t4	0.047	0.047	0.047
構造高	ΣH	1.171	0.866	1.051
下部工天端高	▽Z2	157.027	156.886	156.659

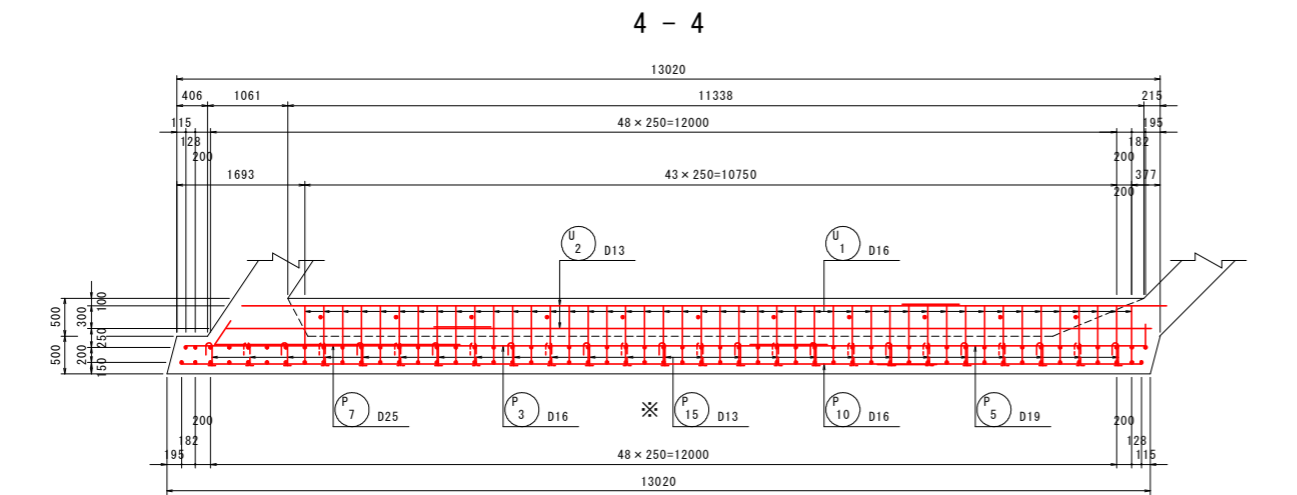
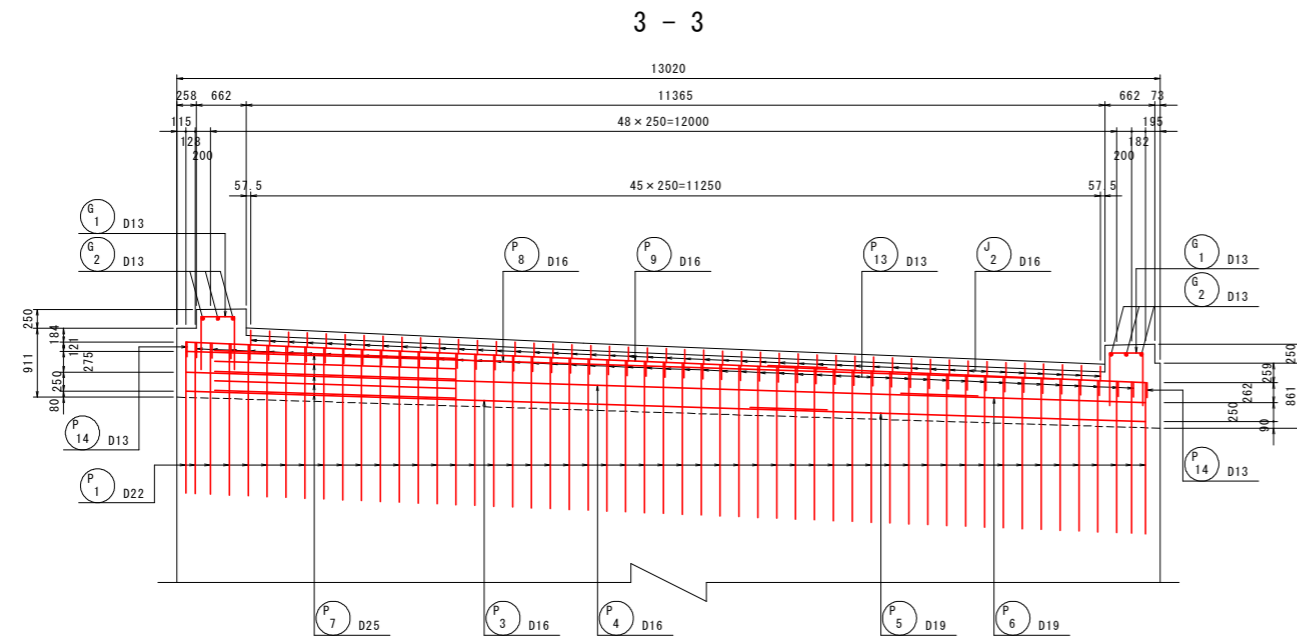
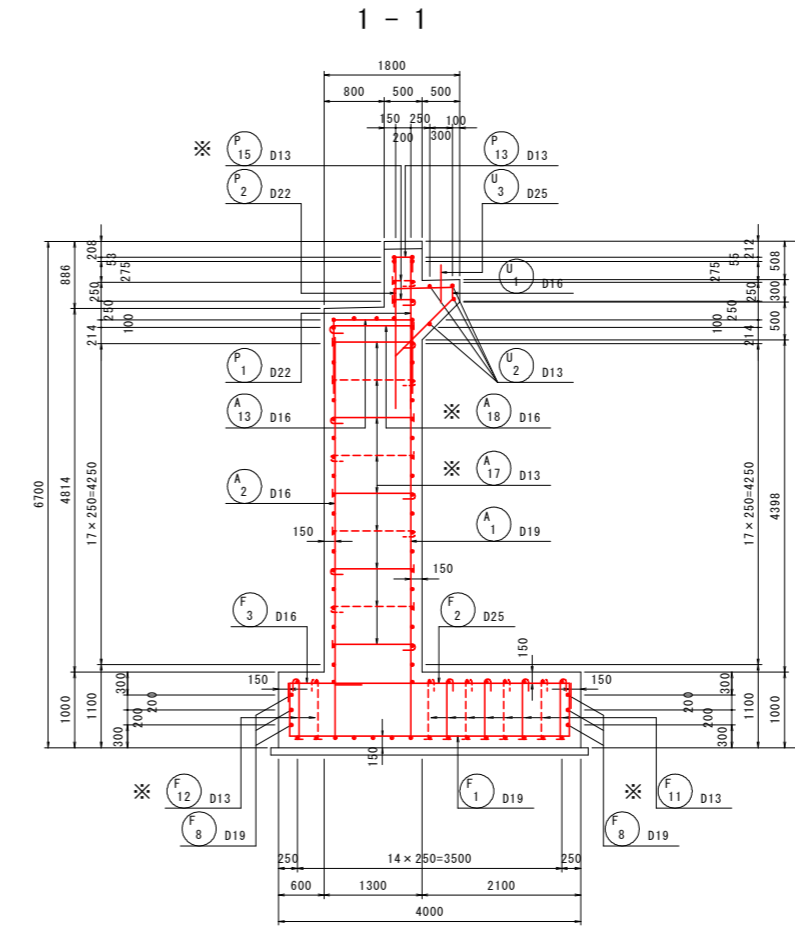
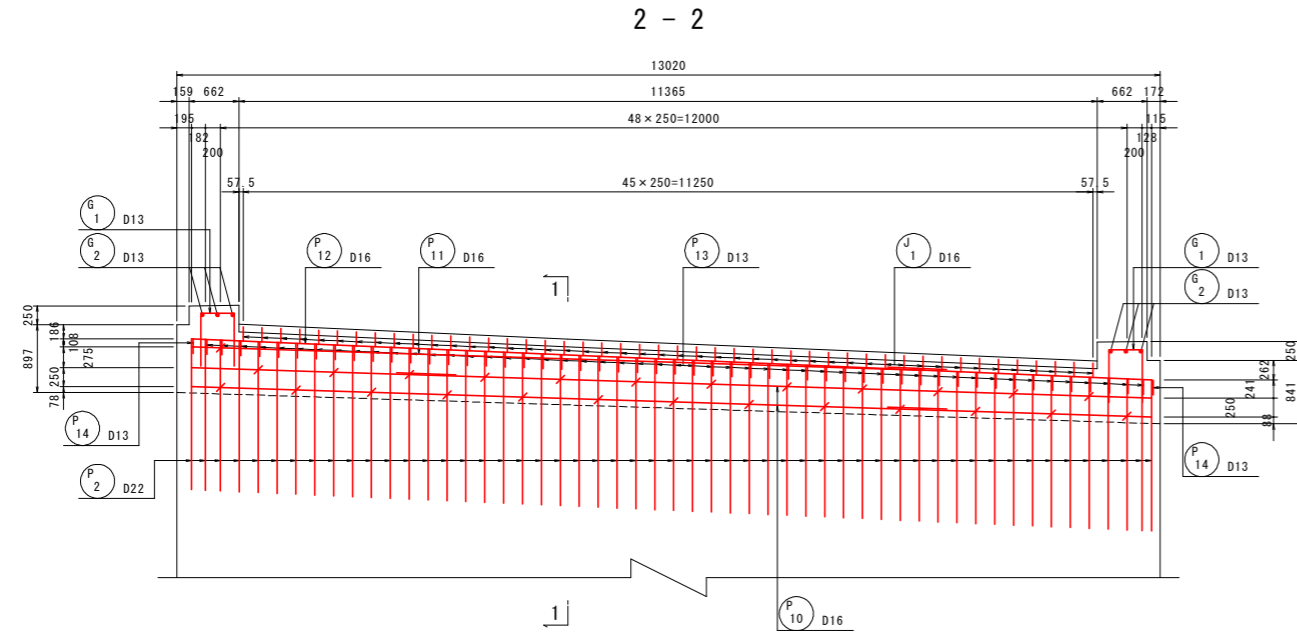


実施設計図面

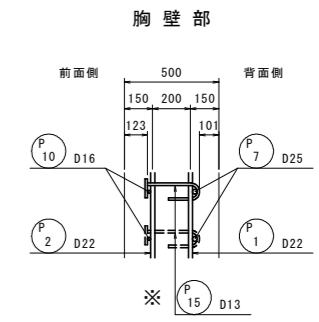
使用材料	躯体	コンクリート	胸壁、壁	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$
			翼壁、地覆	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$
		底版	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$	
		鉄筋	SD345	
		均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	
		裏込材	$\gamma=19kN/m^3, \phi=30'$	

工事名	R8徳土 鬼籠野国府線 神・鬼籠野一ノ坂 橋梁下部工事(1) (着指)		
路線名等	鬼籠野国府線		
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野字一ノ坂 (第1分割)		
図面名	A1橋台構造一般図(その1)		
縮尺	S=1:100	図面番号	4 / 16
会社名	徳島県土整備事務所		

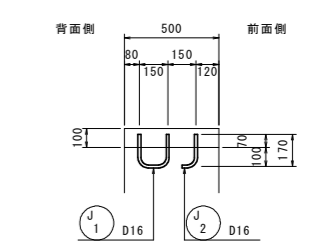
A2橋台配筋図(その1) S=1:50



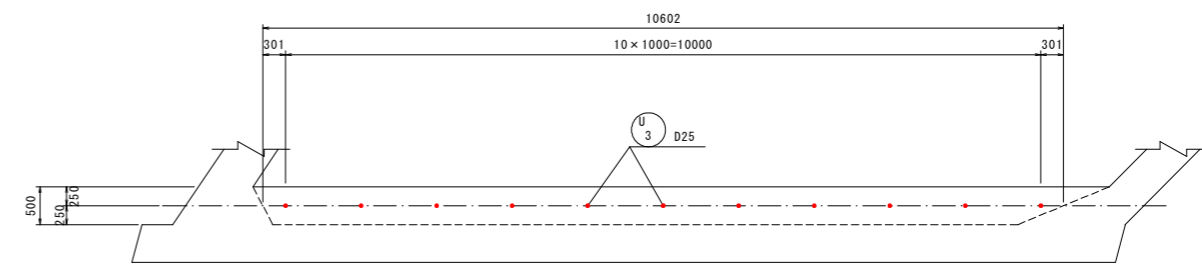
かぶり詳細図 S=1:20



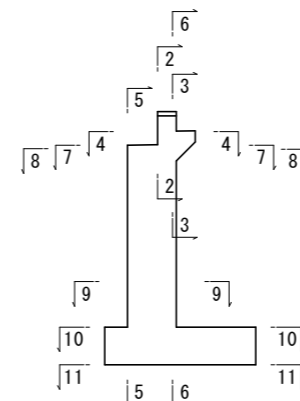
伸縮部詳細図 S=1:20



ずれ止め鉄筋配置図



位置図



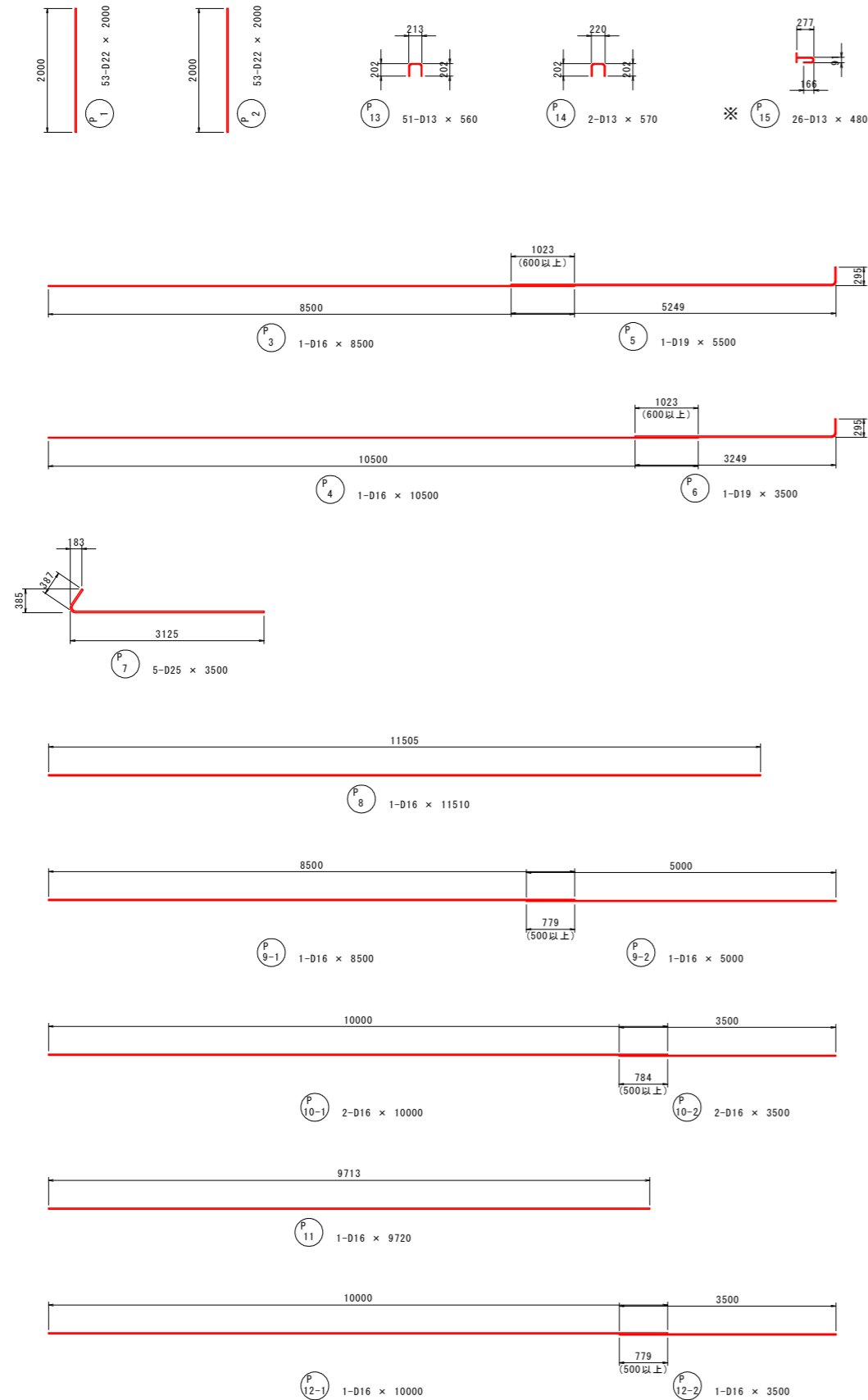
注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
 ①道路橋示方書・同解説(H29.11 日本道路協会)
 ②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
 なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

注) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。

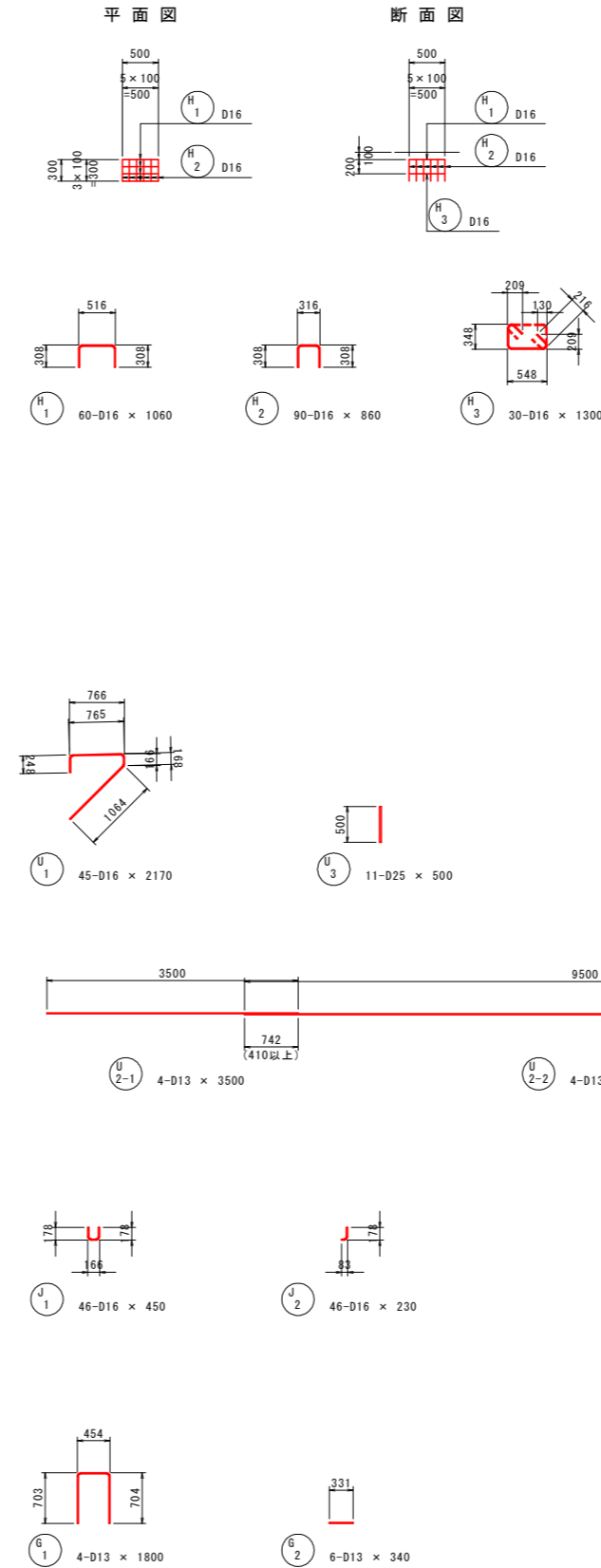
実施設計図面

工事名	R8徳土 鬼籠野国府線 神・鬼籠野ノ坂 橋梁下部工事(1) (着指)		
路線名等	鬼籠野国府線		
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野字ノ坂 (第1分割)		
図面名	A2橋台配筋図(その1)		
縮尺	S=1:50	図面番号	6 / 16
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

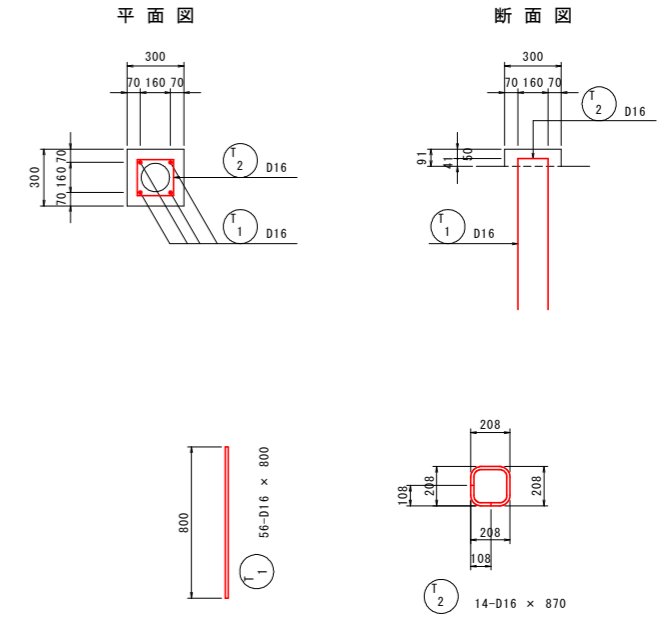
A2橋台配筋図(その2) S=1:50



沓座補強筋 (15箇所)



アンカー台座配筋図 S=1:20



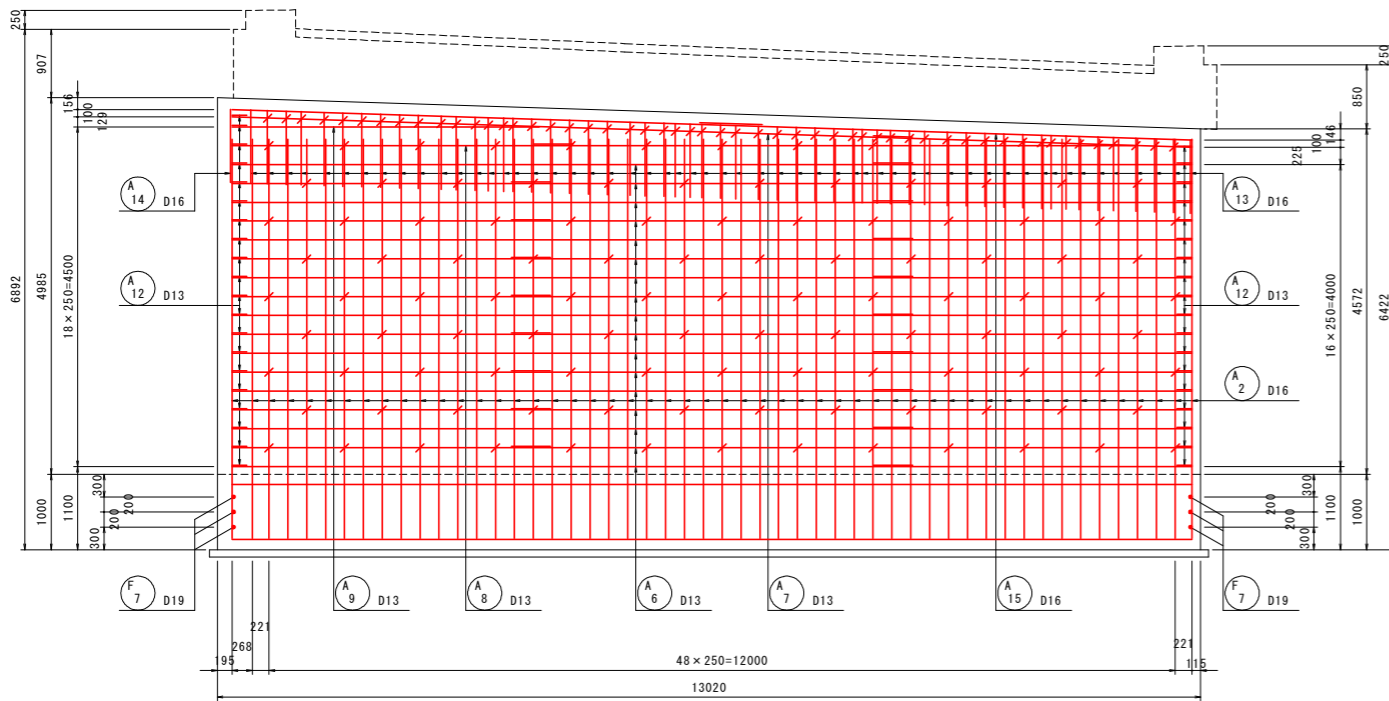
注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
 ①道路橋示方書・同解説(H29.11 日本道路協会)
 ②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
 なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。
 注) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。

実施設計図面

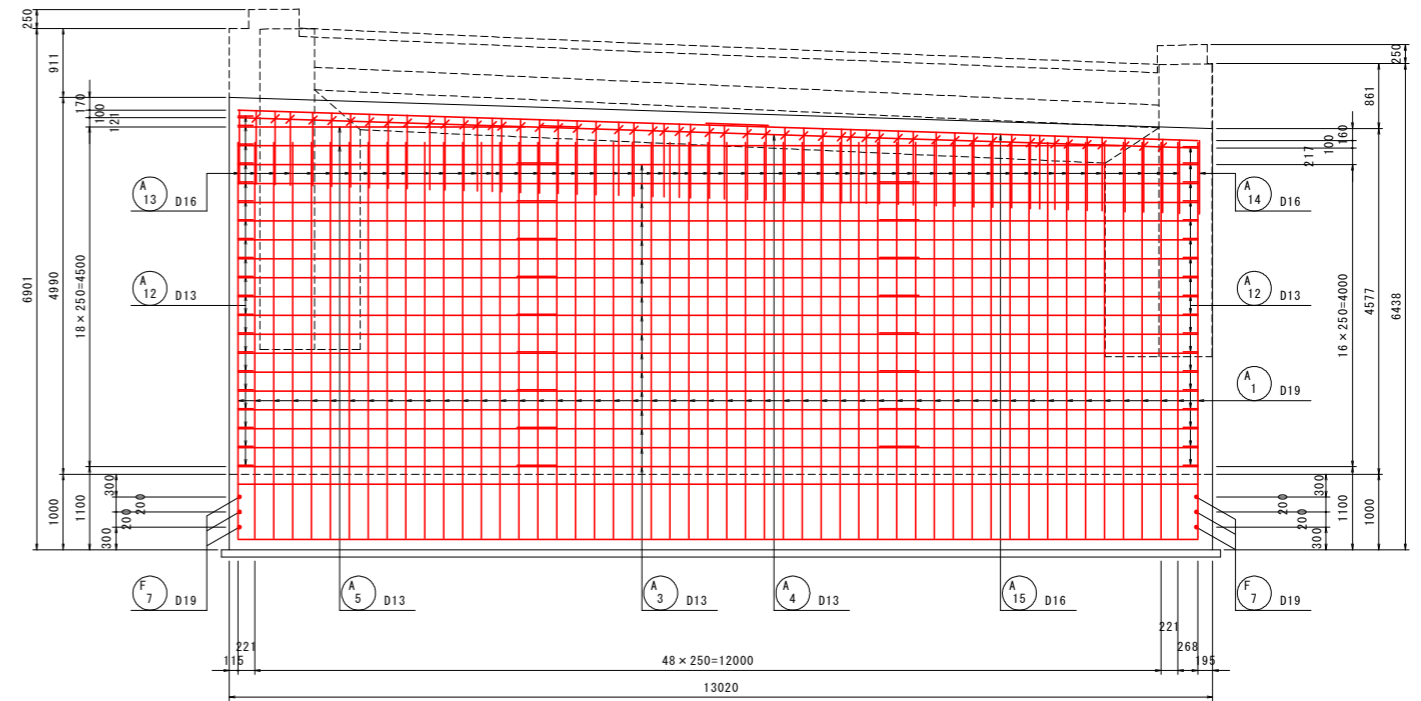
工事名	R8徳土 鬼籠野国府線 神・鬼籠野一ノ坂橋梁下部工事(1) (着指)		
路線名等	鬼籠野国府線		
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野字一ノ坂(第1分割)		
図面名	A2橋台配筋図(その2)		
縮尺	S=1:50	図面番号	7 / 16
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

A2橋台配筋図(その3) S=1:50

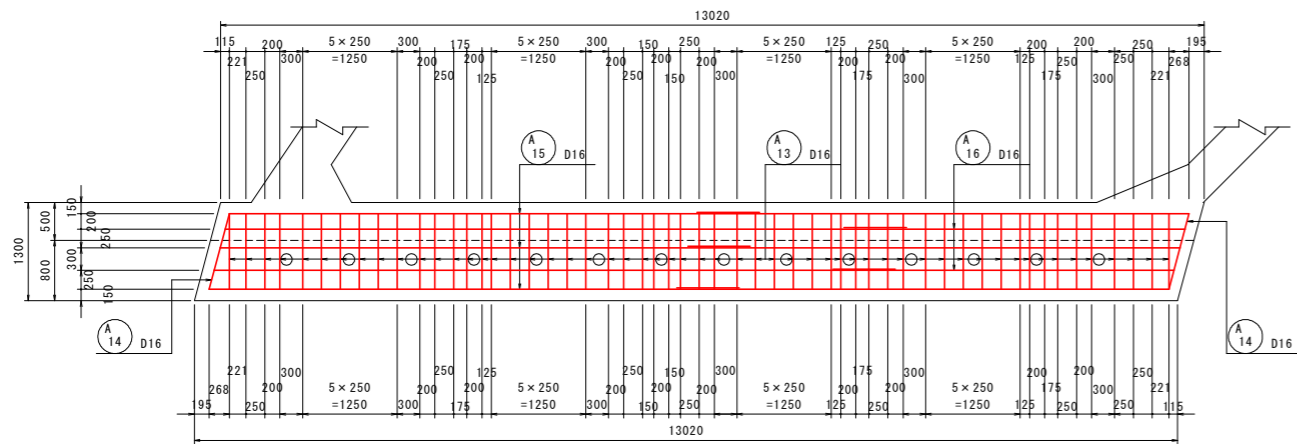
5 - 5



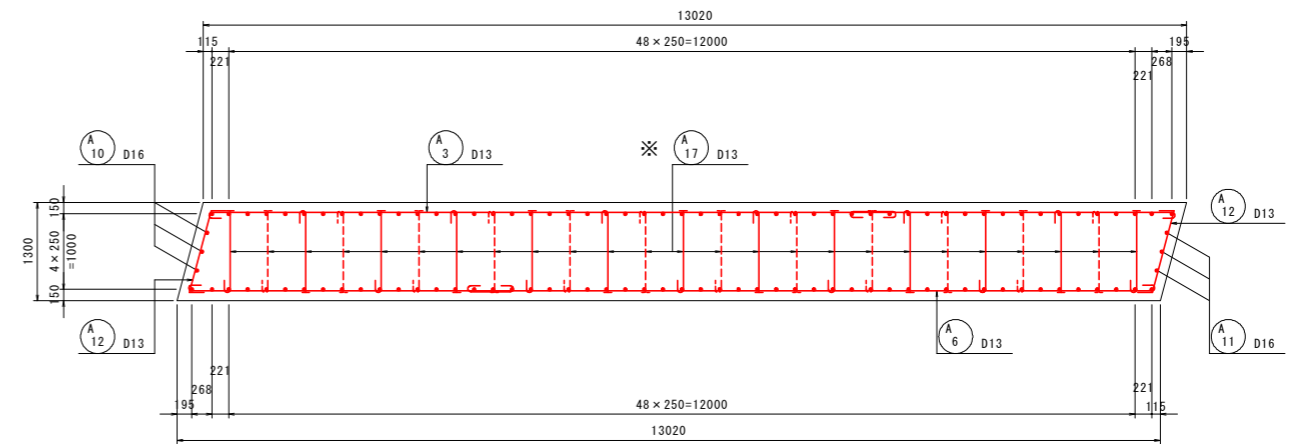
6 - 6



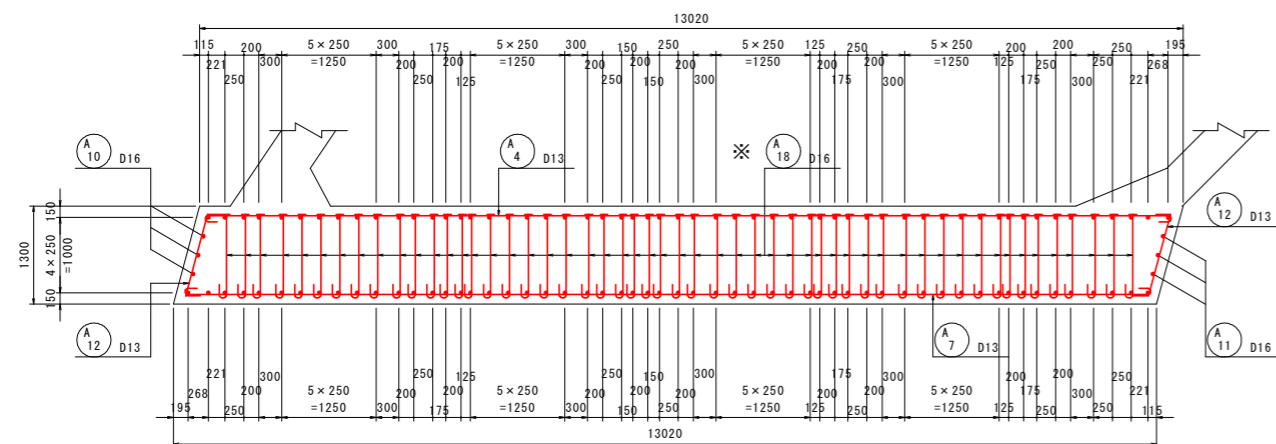
7 - 7



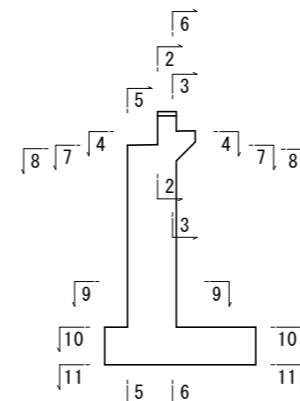
9 - 9



8 - 8



位置図



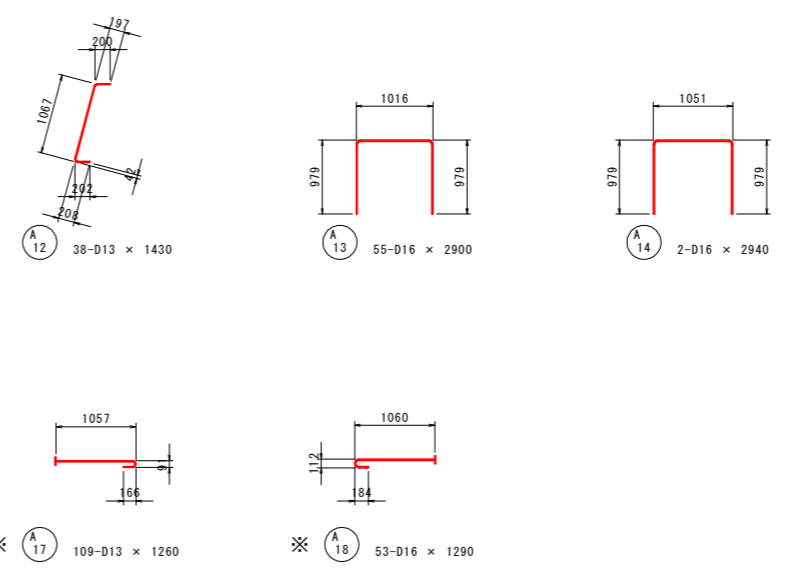
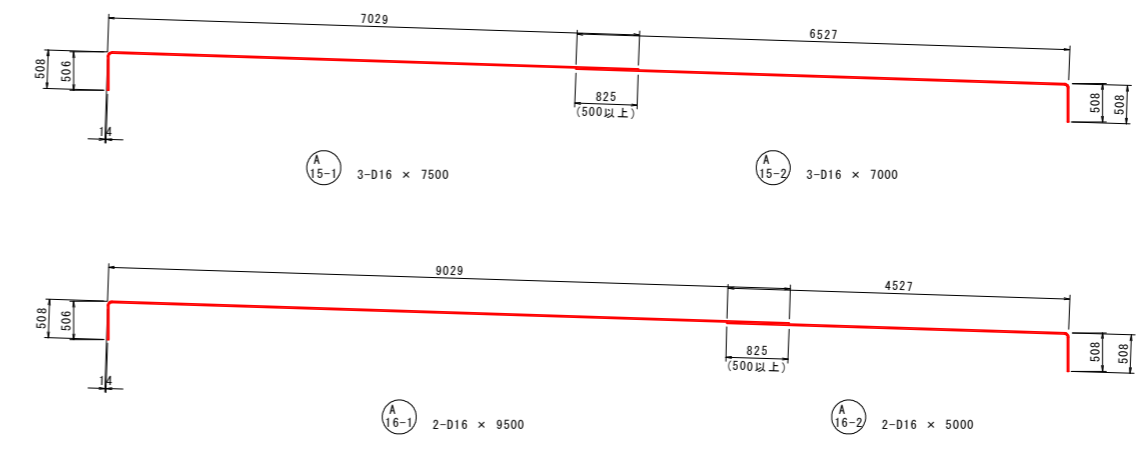
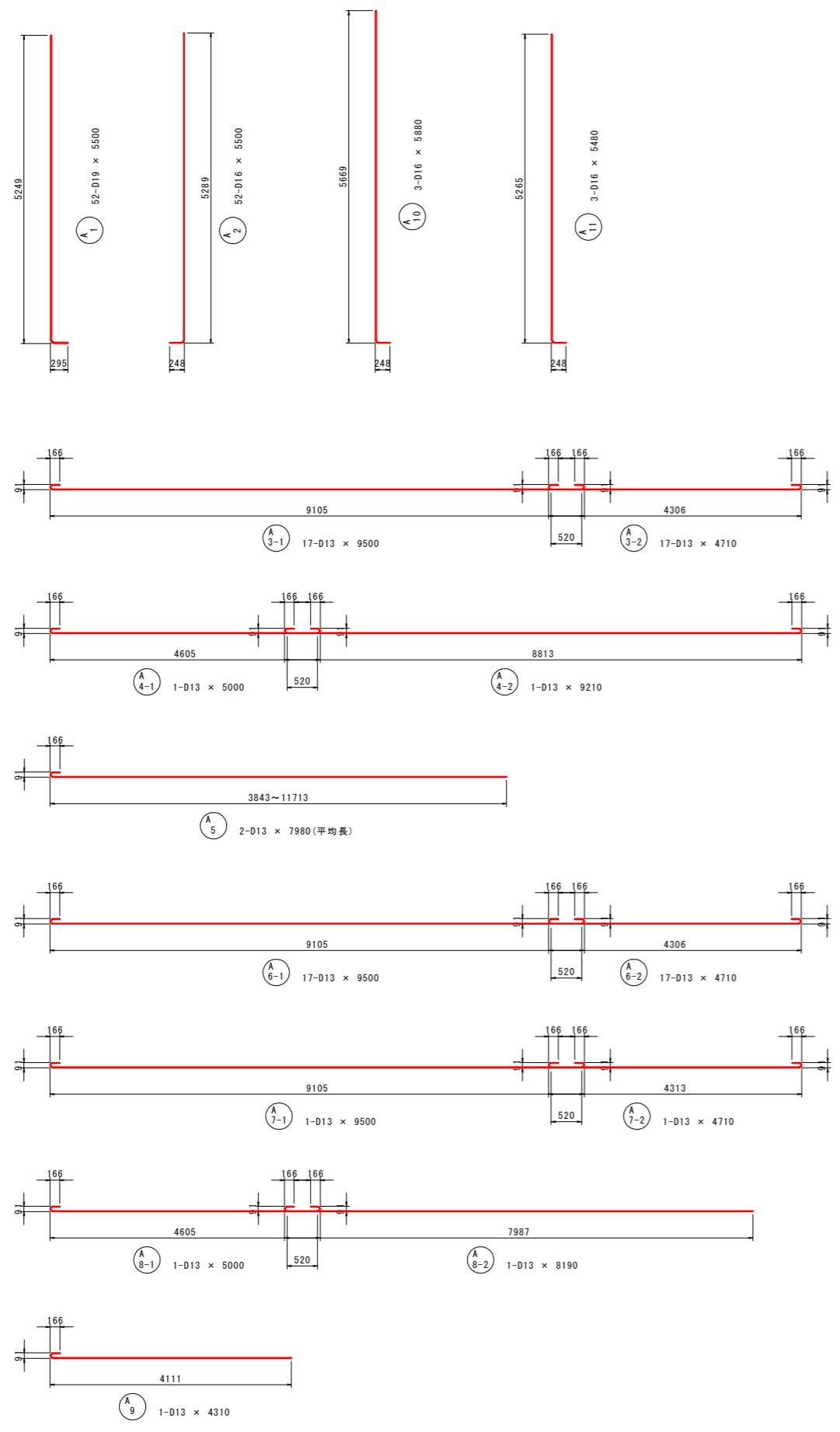
注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
 ①道路橋示方書・同解説(H29.11 日本道路協会)
 ②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
 なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

注) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。

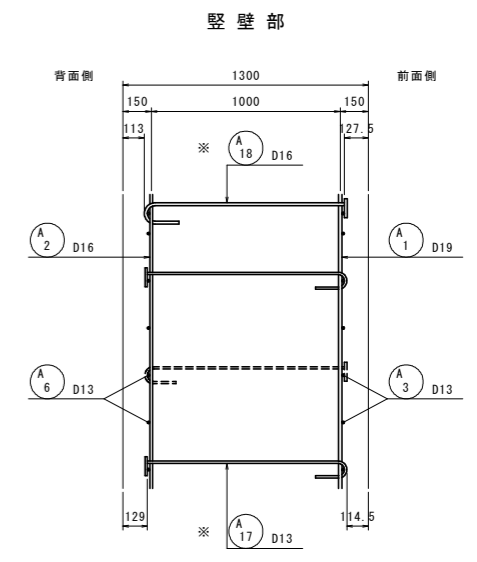
実施設計図面

工事名	R8徳土 鬼籠野国府線 神・鬼籠野一ノ坂橋梁下部工事(1) (着指)		
路線名等	鬼籠野国府線		
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野字一ノ坂(第1分割)		
図面名	A2橋台配筋図(その3)		
縮尺	S=1:50	図面番号	8 / 16
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

A2橋台配筋図(その4) S=1:50



かぶり詳細図 S=1:20



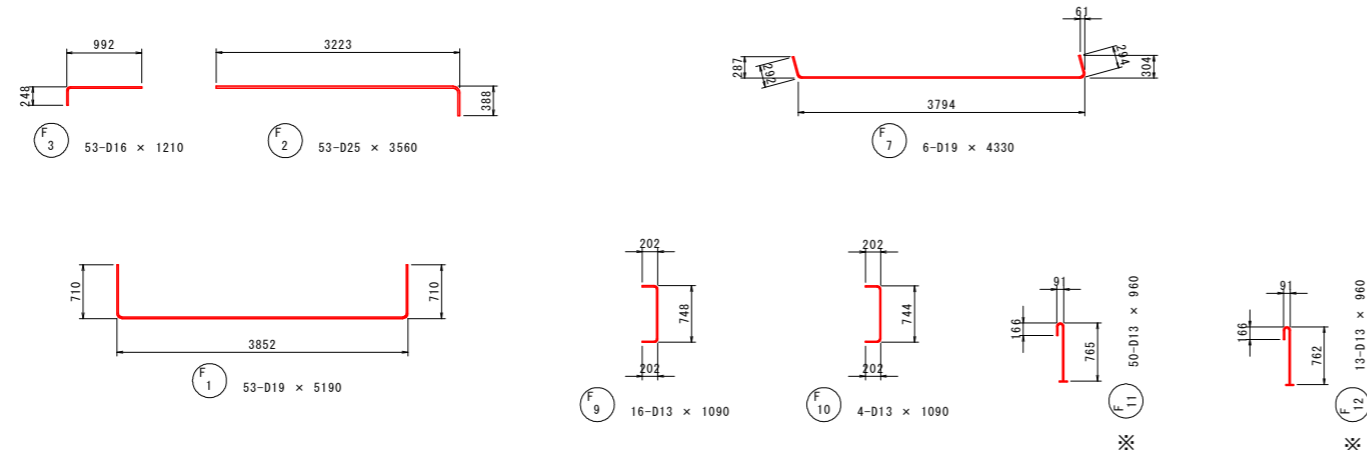
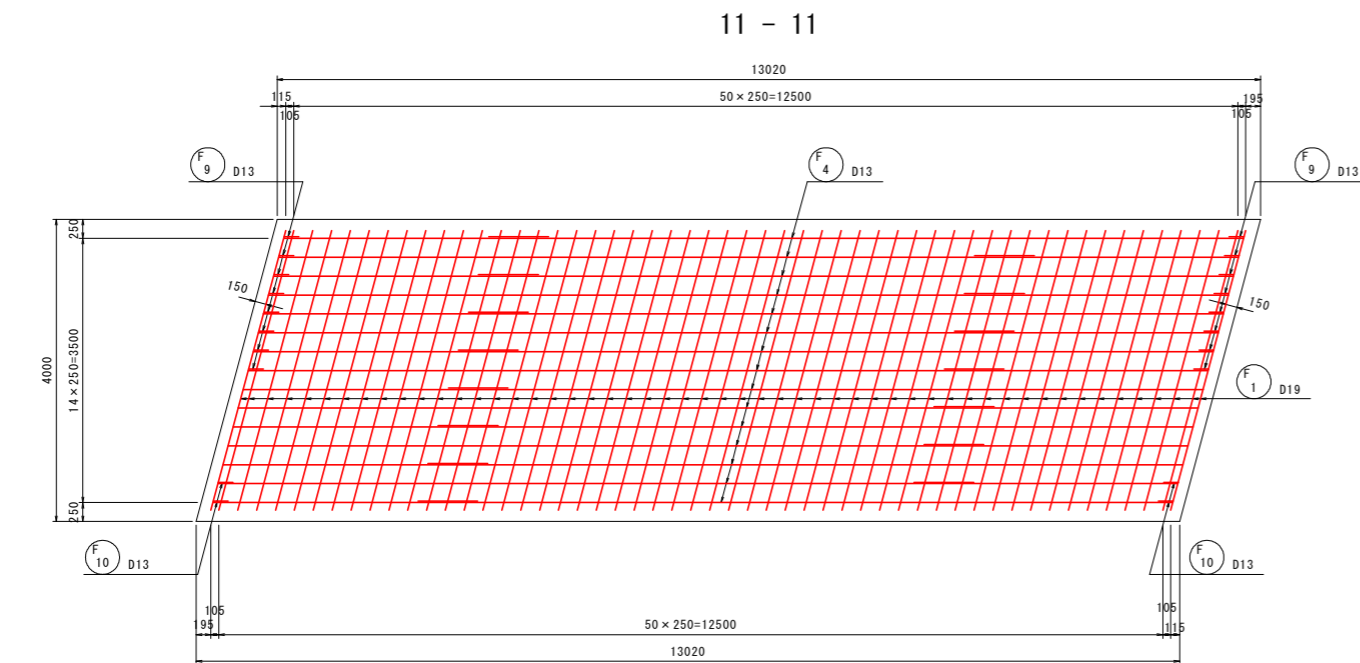
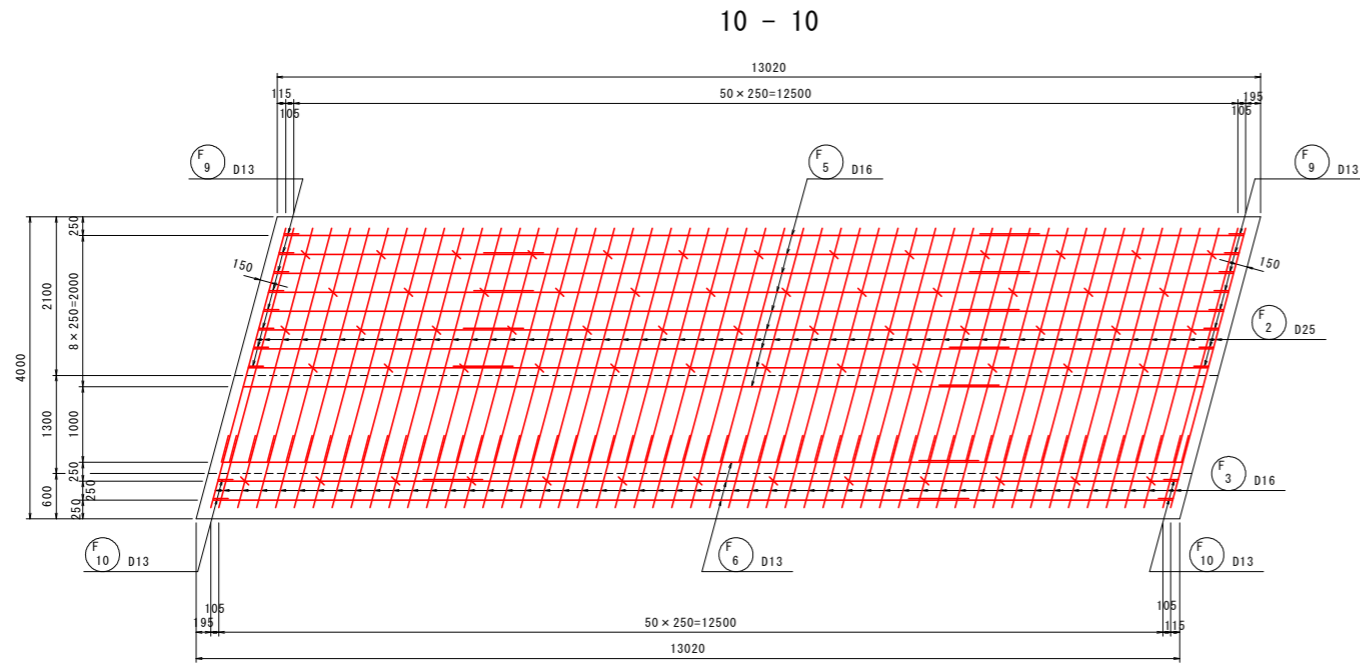
注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
 ①道路橋示方書・同解説(H29.11 日本道路協会)
 ②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
 なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

注) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。

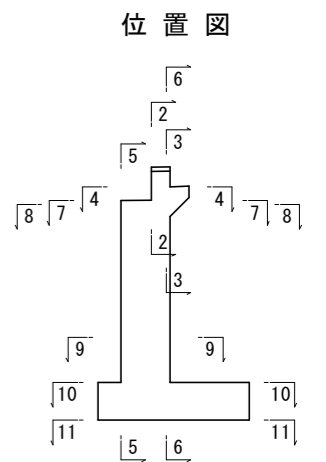
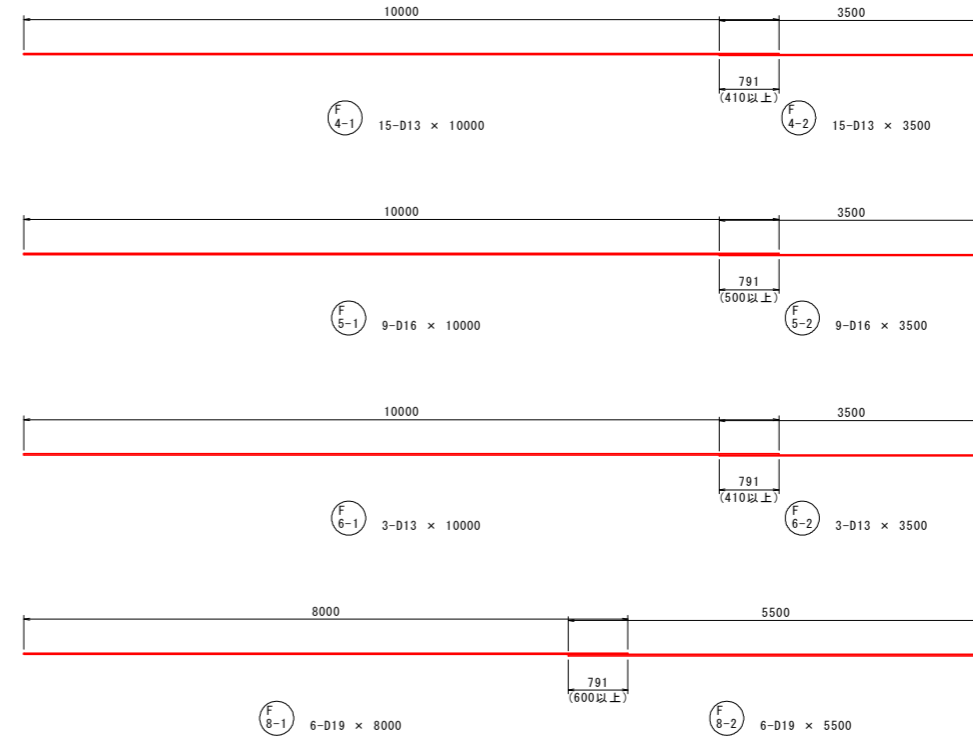
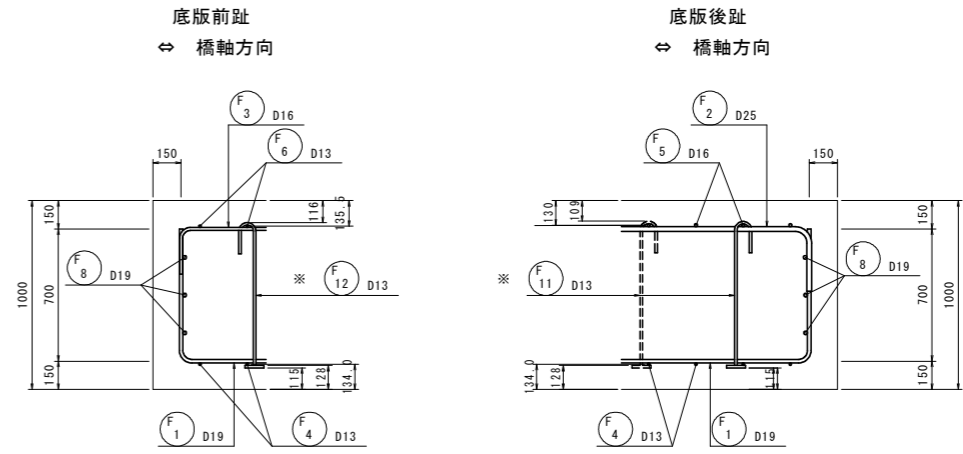
実施設計図面

工事名	R8徳土 鬼籠野国府線 神・鬼籠野一ノ坂橋梁下部工事(1) (着指)		
路線名等	鬼籠野国府線		
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野字一ノ坂(第1分割)		
図面名	A2橋台配筋図(その4)		
縮尺	S=1:50	図面番号	9 / 16
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

A2橋台配筋図(その5) S=1:50



かぶり詳細図 S=1:20



注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
 ①道路橋示方書・同解説(H29.11 日本道路協会)
 ②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
 なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

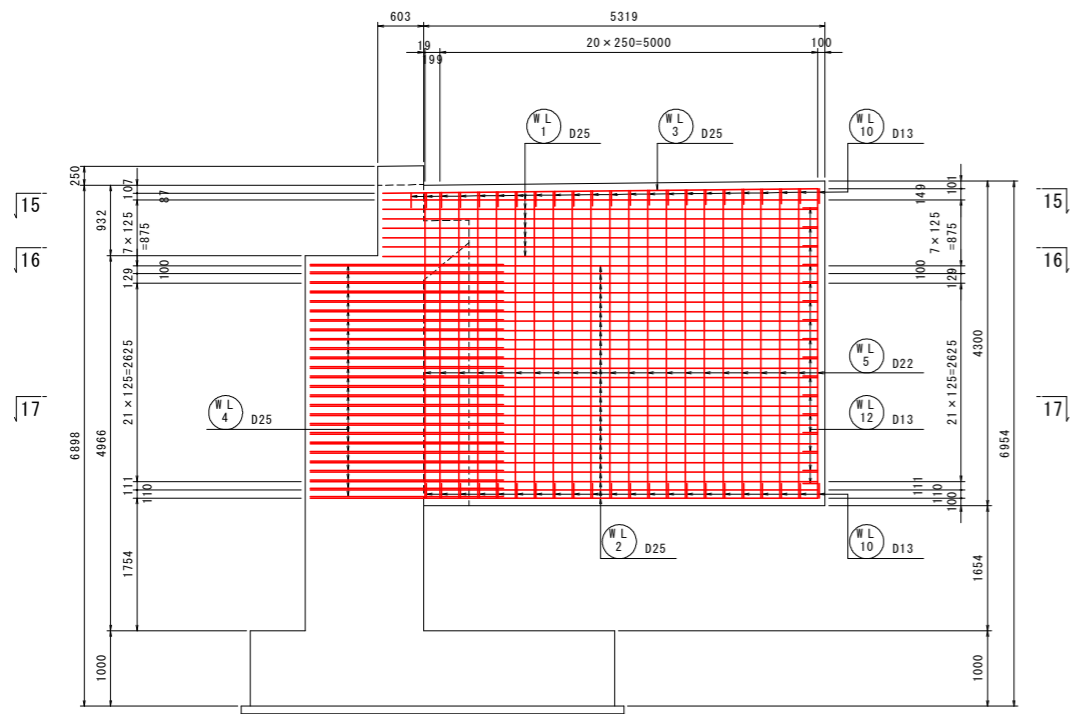
注) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。

実施設計図面

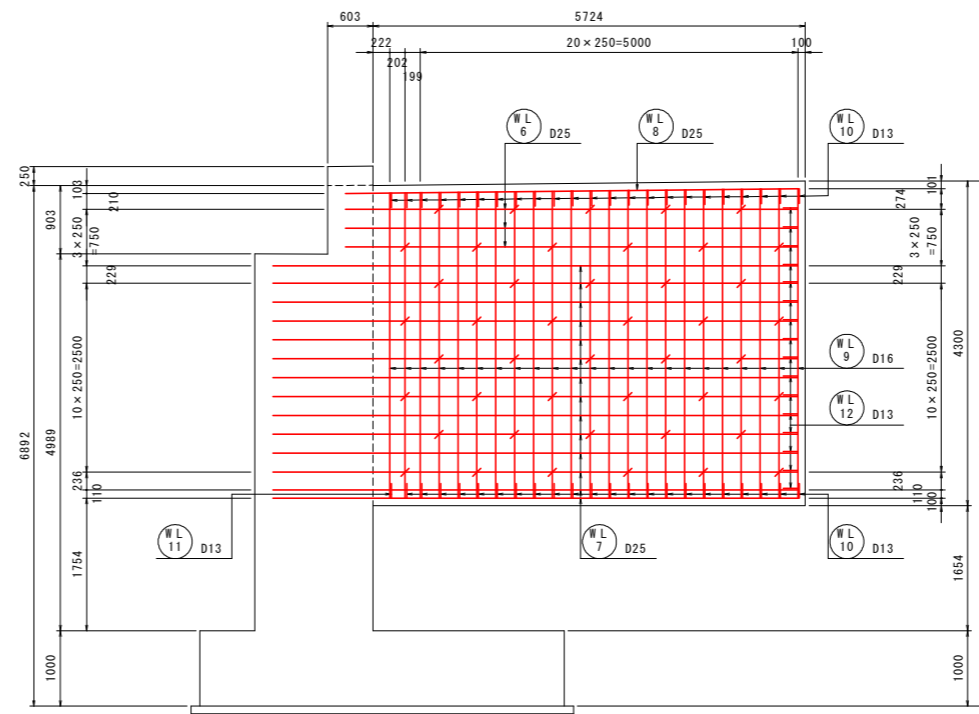
工事名	R8徳土 鬼籠野国府線 神・鬼籠野一ノ坂橋梁下部工事(1) (着指)		
路線名等	鬼籠野国府線		
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野字一ノ坂(第1分割)		
図面名	A2橋台配筋図(その5)		
縮尺	S=1:50	図面番号	10 / 16
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

A2橋台配筋図(その6) S=1:50

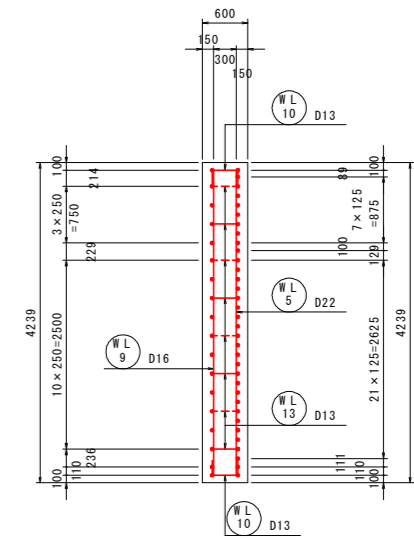
12 - 12



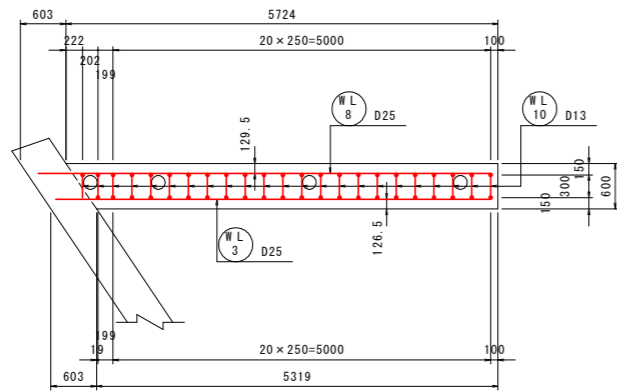
13 - 13



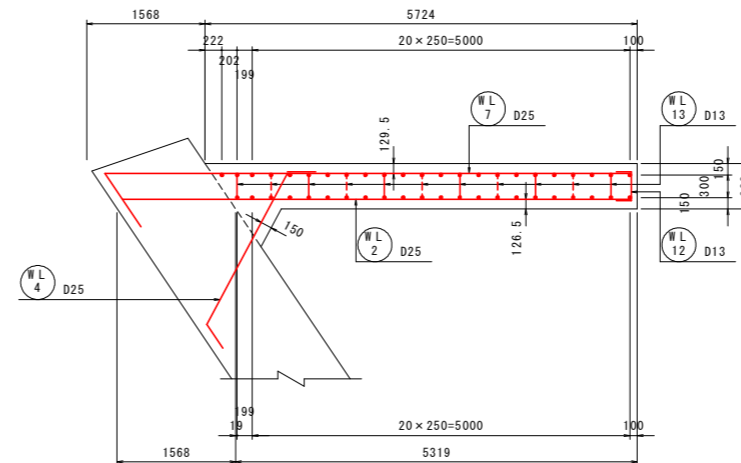
14 - 14



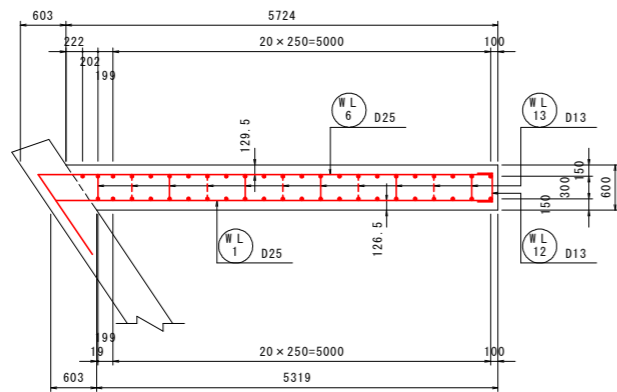
15 - 15



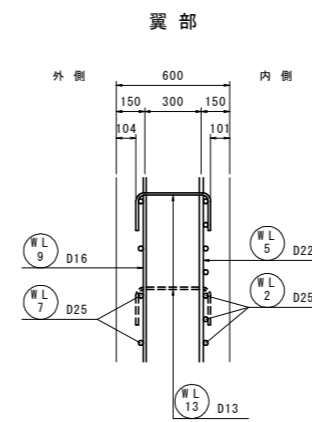
17 - 17



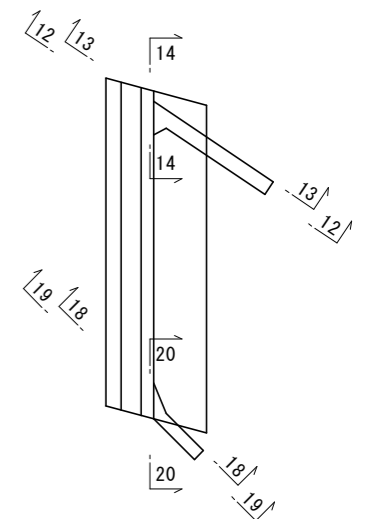
16 - 16



かぶり詳細図 S=1:20



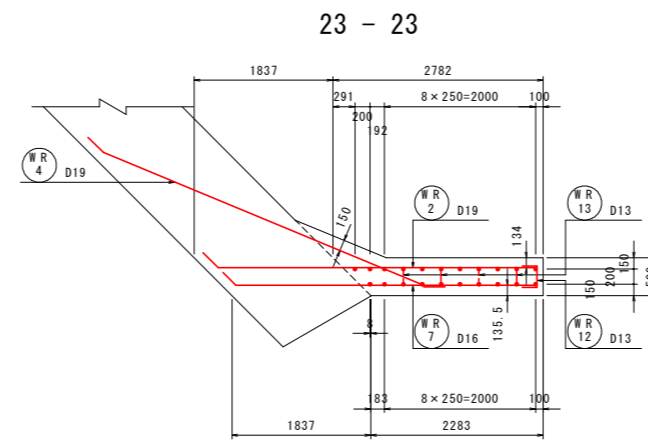
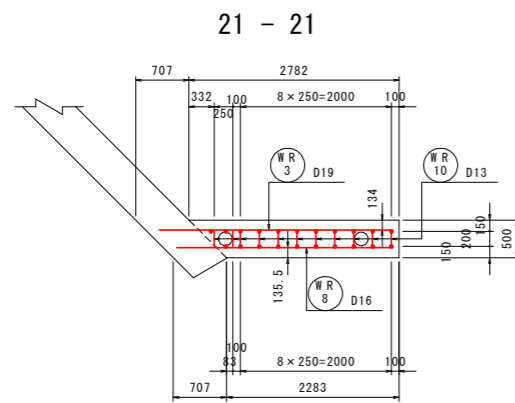
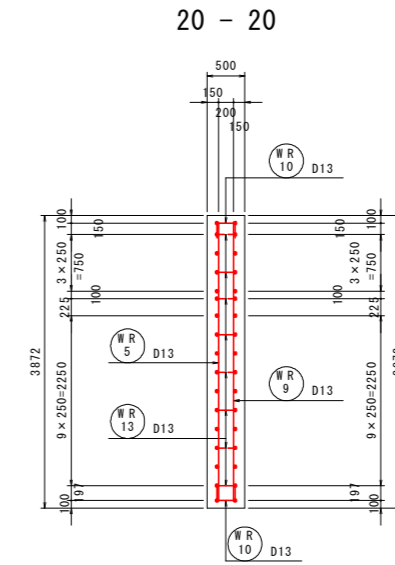
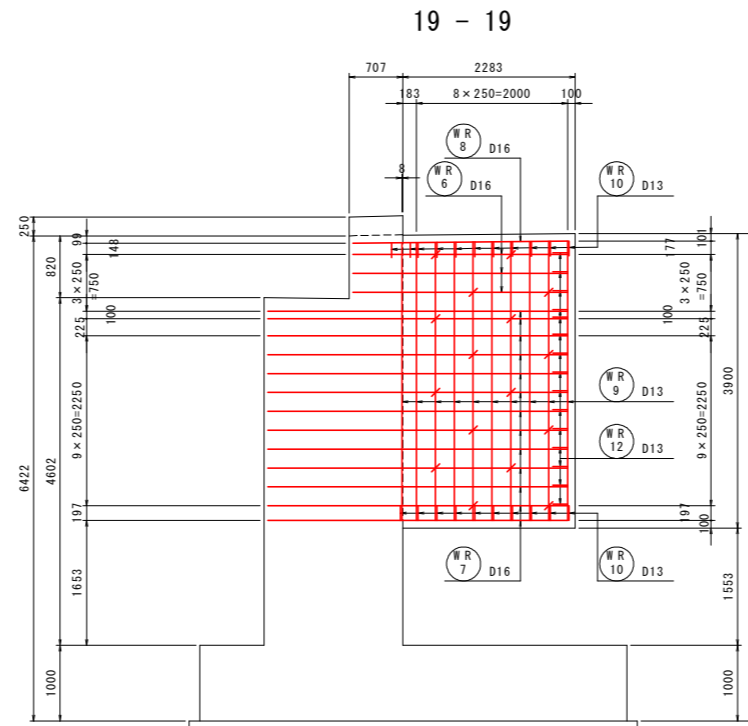
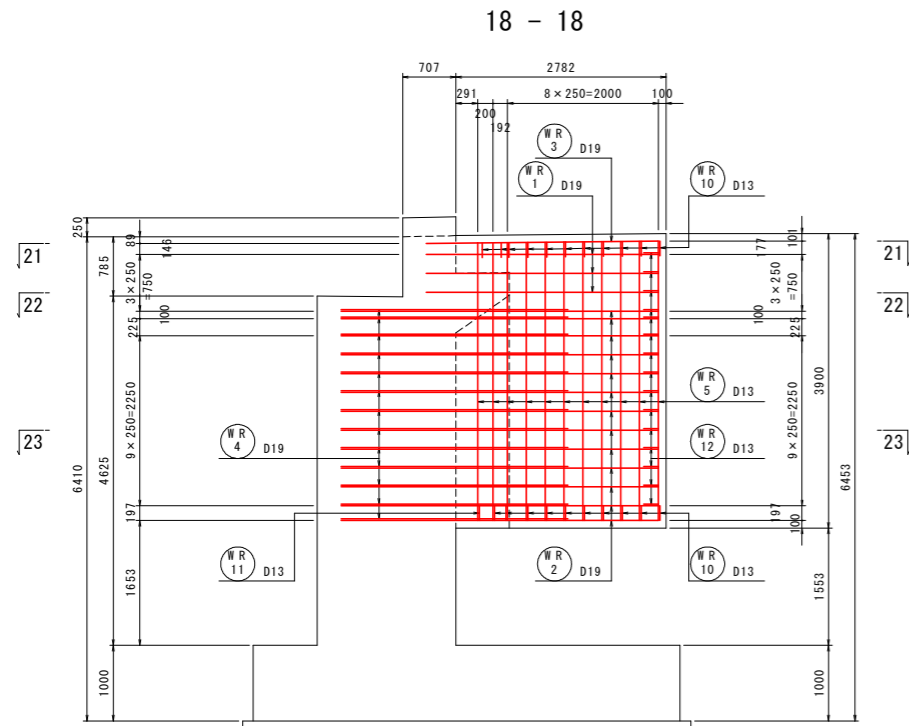
位置図



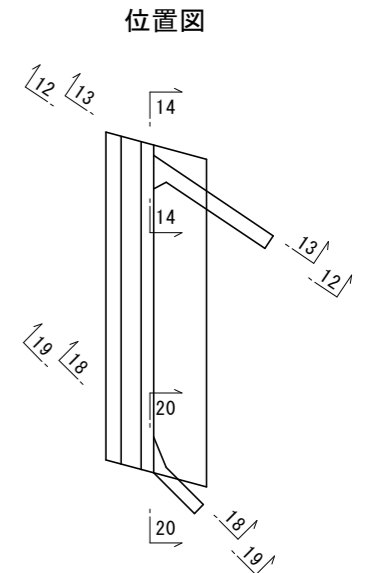
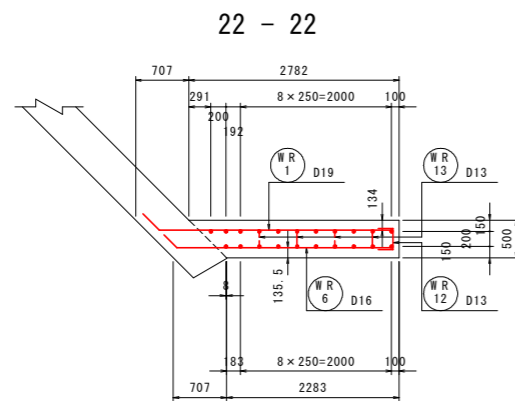
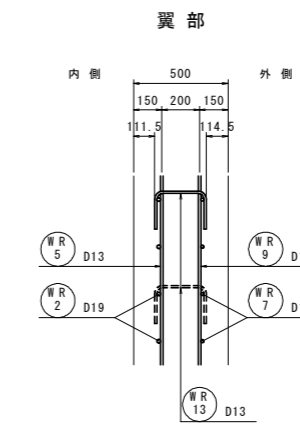
実施設計図面

工事名	R8徳土 鬼籠野国府線 神・鬼籠野一ノ坂 橋梁下部工事(1) (着指)		
路線名等	鬼籠野国府線		
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野字一ノ坂 (第1分割)		
図面名	A2橋台配筋図(その6)		
縮尺	S=1:50	図面番号	11 / 16
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

A2橋台配筋図(その7) S=1:50



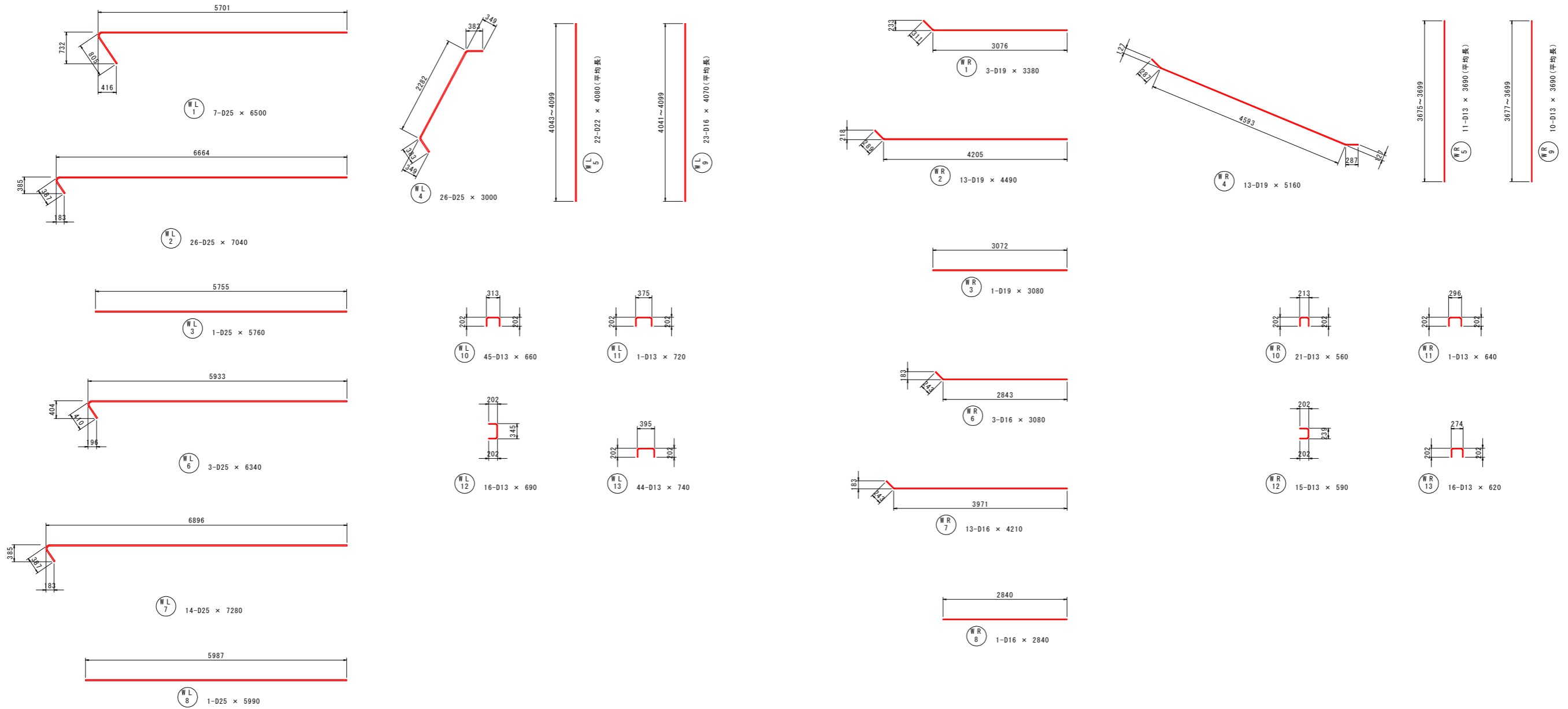
かぶり詳細図 S=1:20



実施設計図面

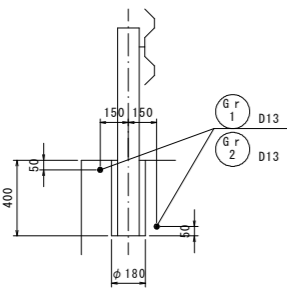
工事名	R 8 徳土 鬼籠野国府線 神・鬼籠野一ノ坂 橋梁下部工事(1) (着指)		
路線名等	鬼籠野国府線		
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野字一ノ坂 (第1分割)		
図面名	A2橋台配筋図(その7)		
縮尺	S=1:50	図面番号	12 / 16
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

A2橋台配筋図(その8) S=1:50

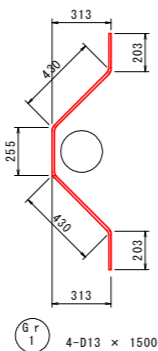


ガードレール補強筋 S=1:20

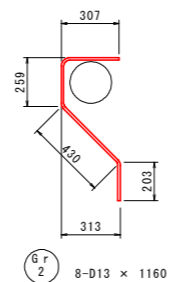
外側 内側



標準部: 2箇所



端部: 4箇所



実施設計図面

工事名	R8徳土 鬼籠野国府線 神・鬼籠野ノ坂 橋梁下部工事(1) (着指)		
路線名等	鬼籠野国府線		
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野字ノ坂 (第1分割)		
図面名	A2橋台配筋図(その8)		
縮尺	S=1:50	図面番号	13 / 16
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

A2橋台配筋図(その9) S=1:50

鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
P ₁	D22	2000	53	3.04	6.08	322	
P ₂	D22	2000	53	3.04	6.08	322	
P ₃	D16	8500	1	1.56	13.26	13	—
P ₄	D16	10500	1	1.56	16.38	16	—
P ₅	D19	5500	1	2.25	12.38	12	—
P ₆	D19	3500	1	2.25	7.88	8	—
P ₇	D25	3500	5	3.98	13.93	70	—
P ₈	D16	11510	1	1.56	17.96	18	—
P ₉₋₁	D16	8500	1	1.56	13.26	13	—
P ₉₋₂	D16	5000	1	1.56	7.80	8	—
P ₁₀₋₁	D16	10000	2	1.56	15.60	31	—
P ₁₀₋₂	D16	3500	2	1.56	5.46	11	—
P ₁₁	D16	9720	1	1.56	15.16	15	—
P ₁₂₋₁	D16	10000	1	1.56	15.60	16	—
P ₁₂₋₂	D16	3500	1	1.56	5.46	5	—
P ₁₃	D13	560	51	0.995	0.56	29	—
P ₁₄	D13	570	2	0.995	0.57	1	—
P ₁₅	D13	480	26	0.995	0.48	12	—
922 kg							
J ₁	D16	450	46	1.56	0.70	32	—
J ₂	D16	230	46	1.56	0.36	17	—
49 kg							
G ₁	D13	1800	4	0.995	1.79	7	—
G ₂	D13	340	6	0.995	0.34	2	—
9 kg							
U ₁	D16	2170	45	1.56	3.39	153	—
U ₂₋₁	D13	3500	4	0.995	3.48	14	—
U ₂₋₂	D13	9500	4	0.995	9.45	38	—
U ₃	D25	500	11	3.98	1.99	22	—
227 kg							
H ₁	D16	1060	60	1.56	1.65	99	—
H ₂	D16	860	90	1.56	1.34	121	—
H ₃	D16	1300	30	1.56	2.03	61	—
281 kg							
T ₁	D16	800	56	1.56	1.25	70	—
T ₂	D16	870	14	1.56	1.36	19	—
89 kg							
A ₁	D19	5500	52	2.25	12.38	644	—
A ₂	D16	5500	52	1.56	8.58	446	—
A ₃₋₁	D13	9500	17	0.995	9.45	161	—
A ₃₋₂	D13	4710	17	0.995	4.69	80	—
A ₄₋₁	D13	5000	1	0.995	4.98	5	—
A ₄₋₂	D13	9210	1	0.995	9.16	9	—
A ₅	D13	7980	2	0.995	7.94	16	—
A ₆₋₁	D13	9500	17	0.995	9.45	161	—
A ₆₋₂	D13	4710	17	0.995	4.69	80	—
A ₇₋₁	D13	9500	1	0.995	9.45	9	—
A ₇₋₂	D13	4710	1	0.995	4.69	5	—
A ₈₋₁	D13	5000	1	0.995	4.98	5	—
A ₈₋₂	D13	8190	1	0.995	8.15	8	—
A ₉	D13	4310	1	0.995	4.29	4	—
A ₁₀	D16	5880	3	1.56	9.17	28	—
A ₁₁	D16	5480	3	1.56	8.55	26	—
A ₁₂	D13	1430	38	0.995	1.42	54	—
A ₁₃	D16	2900	55	1.56	4.52	249	—
A ₁₄	D16	2940	2	1.56	4.59	9	—
A ₁₅₋₁	D16	7500	3	1.56	11.70	35	—
A ₁₅₋₂	D16	7000	3	1.56	10.92	33	—
A ₁₆₋₁	D16	9500	2	1.56	14.82	30	—
A ₁₆₋₂	D16	5000	2	1.56	7.80	16	—
A ₁₇	D13	1260	109	0.995	1.25	136	—
A ₁₈	D16	1290	53	1.56	2.01	107	—
2356 kg							

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
F ₁	D19	5190	53	2.25	11.68	619	—
F ₂	D25	3560	53	3.98	14.17	751	—
F ₃	D16	1210	53	1.56	1.89	100	—
F ₄₋₁	D13	10000	15	0.995	9.95	149	—
F ₄₋₂	D13	3500	15	0.995	3.48	52	—
F ₅₋₁	D16	10000	9	1.56	15.60	140	—
F ₅₋₂	D16	3500	9	1.56	5.46	49	—
F ₆₋₁	D13	10000	3	0.995	9.95	30	—
F ₆₋₂	D13	3500	3	0.995	3.48	10	—
F ₇	D19	4330	6	2.25	9.74	58	—
F ₈₋₁	D19	8000	6	2.25	18.00	108	—
F ₈₋₂	D19	5500	6	2.25	12.38	74	—
F ₉	D13	1090	16	0.995	1.08	17	—
F ₁₀	D13	1090	4	0.995	1.08	4	—
F ₁₁	D13	960	50	0.995	0.96	48	—
F ₁₂	D13	960	13	0.995	0.96	12	—
2221 kg							
W _{L1}	D25	6500	7	3.98	25.87	181	—
W _{L2}	D25	7040	26	3.98	28.02	729	—
W _{L3}	D25	5760	1	3.98	22.92	23	—
W _{L4}	D25	3000	26	3.98	11.94	310	—
W _{L5}	D22	4080	22	3.04	12.40	273	— (平均長)
W _{L6}	D25	6340	3	3.98	25.23	76	—
W _{L7}	D25	7280	14	3.98	28.97	406	—
W _{L8}	D25	5990	1	3.98	23.84	24	—
W _{L9}	D16	4070	23	1.56	6.35	146	— (平均長)
W _{L10}	D13	660	45	0.995	0.66	30	—
W _{L11}	D13	720	1	0.995	0.72	1	—
W _{L12}	D13	690	16	0.995	0.69	11	—
W _{L13}	D13	740	44	0.995	0.74	33	—
2243 kg							
W _{R1}	D19	3380	3	2.25	7.61	23	—
W _{R2}	D19	4490	13	2.25	10.10	131	—
W _{R3}	D19	3080	1	2.25	6.93	7	—
W _{R4}	D19	5160	13	2.25	11.61	151	—
W _{R5}	D13	3690	11	0.995	3.67	40	— (平均長)
W _{R6}	D16	3080	3	1.56	4.80	14	—
W _{R7}	D16	4210	13	1.56	6.57	85	—
W _{R8}	D16	2840	1	1.56	4.43	4	—
W _{R9}	D13	3690	10	0.995	3.67	37	— (平均長)
W _{R10}	D13	560	21	0.995	0.56	12	—
W _{R11}	D13	640	1	0.995	0.64	1	—
W _{R12}	D13	590	15	0.995	0.59	9	—
W _{R13}	D13	620	16	0.995	0.62	10	—
524 kg							
G _{r1}	D13	1500	4	0.995	1.49	6	—
G _{r2}	D13	1160	8	0.995	1.15	9	—
15 kg							
合計							
				D25		2592 kg	
				D22		917 kg	
				D19		1835 kg	
				D16		2235 kg	
				D13		1357 kg	
総質量						8936 kg	

機械式鉄筋定着工法数量表

鉄筋径	箇所数					
	0<L≤1m	1m<L≤2m	2m<L≤3m	3m<L≤4m	4m<L≤5m	5m<L≤6m
D13	89	109	-	-	-	-
D16	-	53	-	-	-	-
D19	-	-	-	-	-	-
D22	-	-	-	-	-	-
D25	-	-	-	-	-	-
D29	-	-	-	-	-	-
小計	89	162	-	-	-	-
合計	251					

注) ※印表記は機械式鉄筋定着工法を示すものであり、下記の基準等を満足すること。
 ①道路橋示方書・同解説(H29.11 日本道路協会)
 ②機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン(H28.7 機械式鉄筋定着工法技術検討委員会)
 なお、定着体の設置方向は、施工条件に応じて定着体と半円形フックの設置方向を変更してもよい。

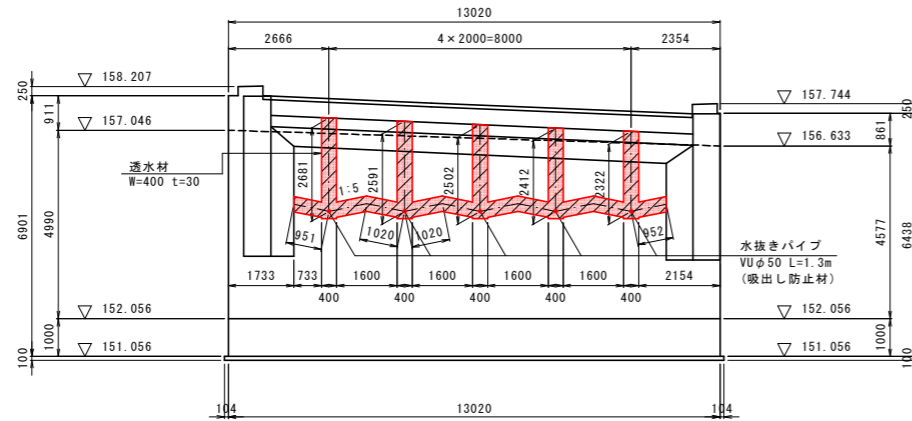
注) この図面の機械式鉄筋定着工法は参考図であり製品を指定するものではない。

実施設計図面

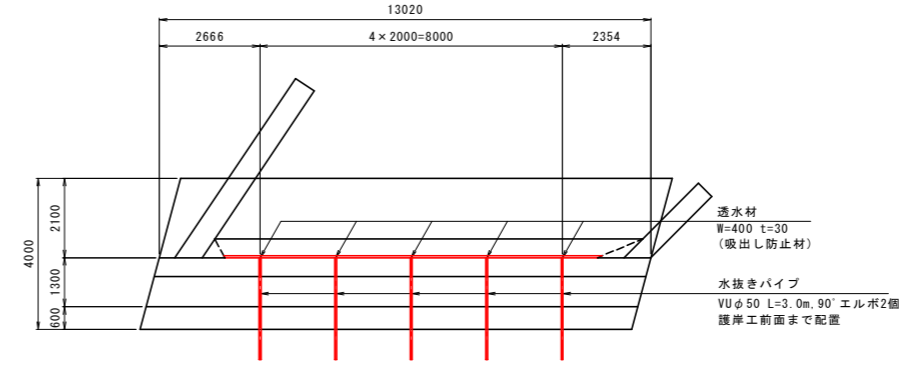
工事名	R8徳土 鬼籠野国府線 神・鬼籠野ノ坂 橋梁下部工事(1) (着指)		
路線名等	鬼籠野国府線		
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野字ノ坂(第1分割)		
図面名	A2橋台配筋図(その9)		
縮尺	S=1:50	図面番号	14 / 16
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

裏込め工詳細図 S=1:100

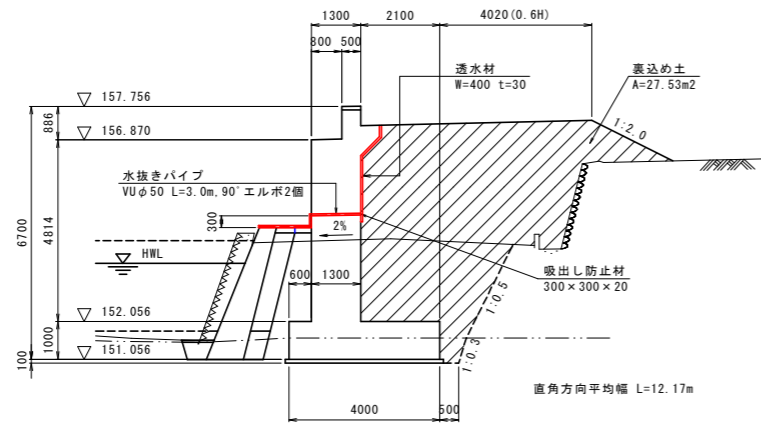
A2橋台
背面図



平面図



断面図



橋台背面アプローチ部の盛土材料の基準値

項目	範囲
最大粒径	100mm以下
4.750 μm (No. 4) ふるい通過質量百分率	25~100%
75 μm (No. 200) ふるい通過質量百分率	0~25%
塑性指数 (425 μmふるい通過分について)	10以下

道路橋示方書-同解説 IV下部構造編 (公社)日本道路協会 平成29年11月(2017年) P543

橋台背面の日常管理の基準値

仕上がり厚さ	締固め度 Dc
200mm以下	Dc>平均92% 最少90%

道路橋示方書-同解説 IV下部構造編 (公社)日本道路協会 平成29年11月(2017年) P544

特 記 (橋台背面アプローチ部)

- 橋台背面アプローチ部については、盛土材料、および締固め度は上表の条件に準じて施工を行う必要がある。
- また、橋台背面部の土中に水が滞水しないように、排水工を設ける必要がある。

数量表 (A2橋台)

項目	種別	単位	数量	備考
透水材	W=400 t=30	m	22.6	
吸出し防止材	400×400×20	箇所	5	
水抜きパイプ (VUφ50)		m	15.0	
水抜きパイプ (90°エルボ)		個	10	
裏込め材		m³	335.0	

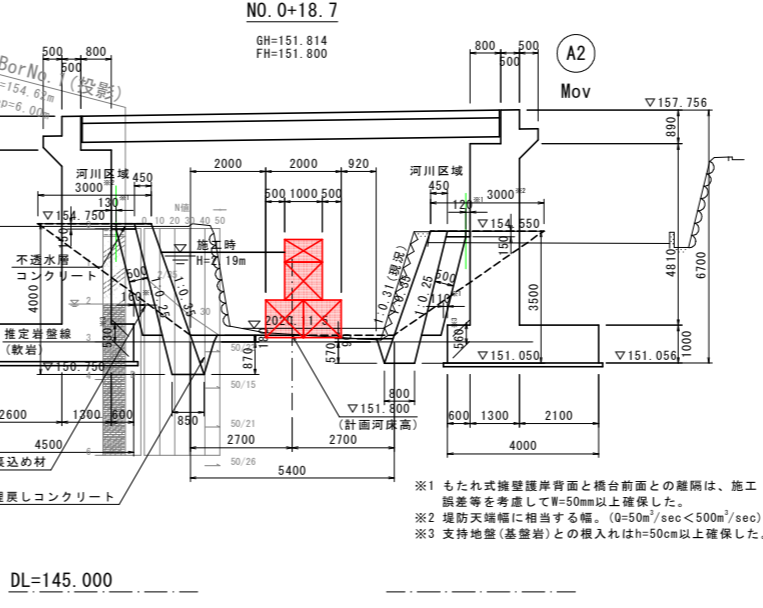
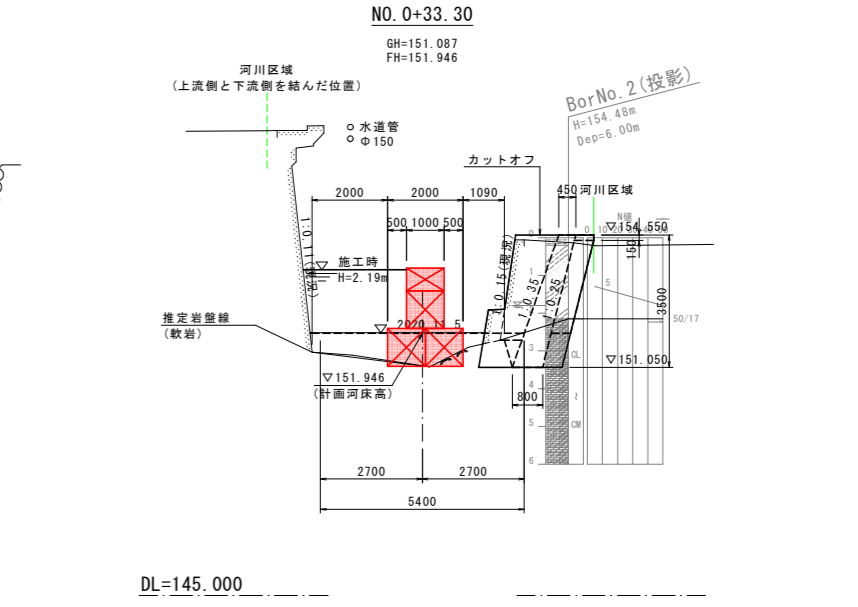
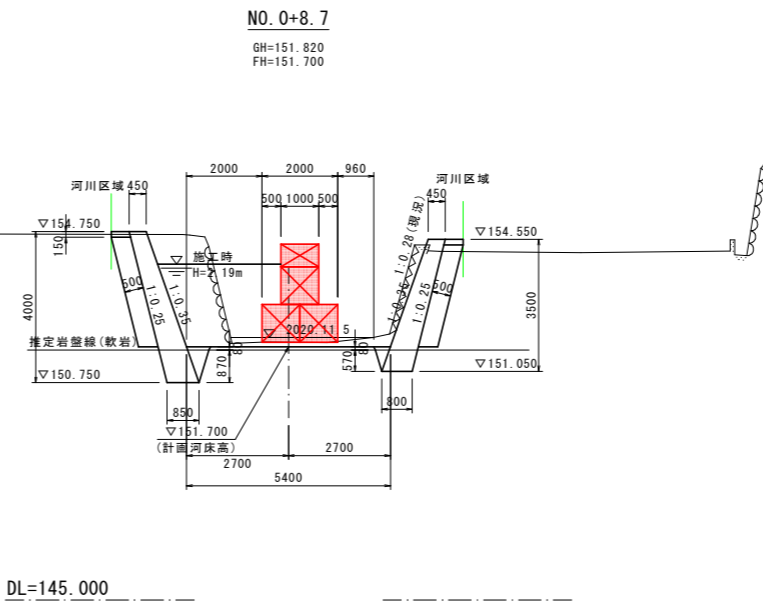
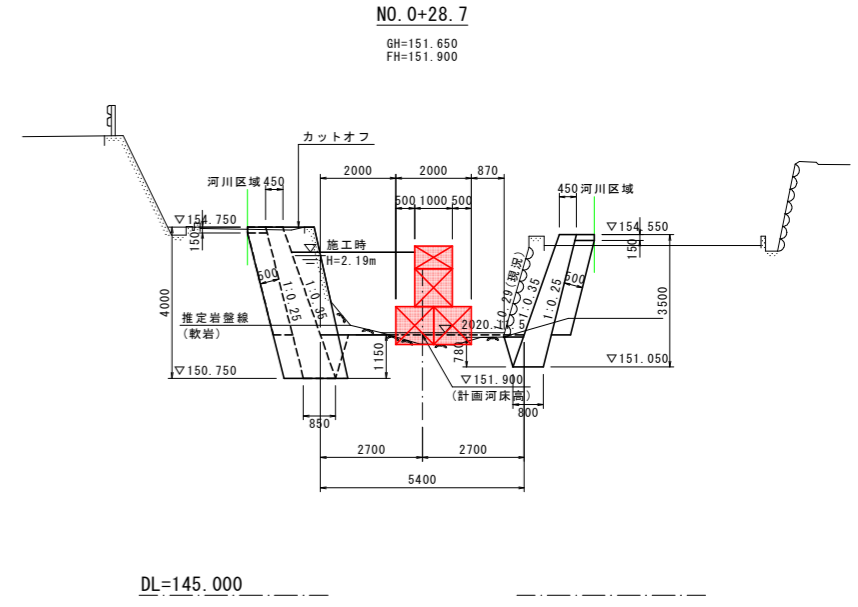
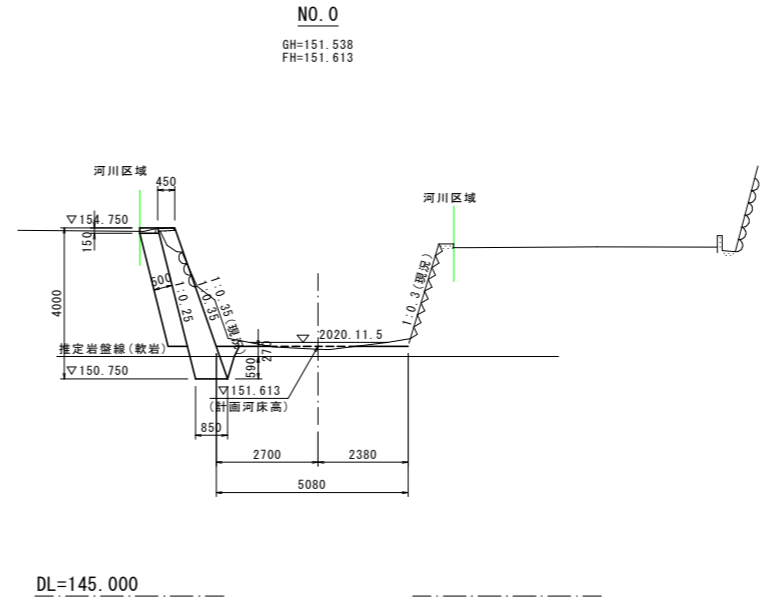
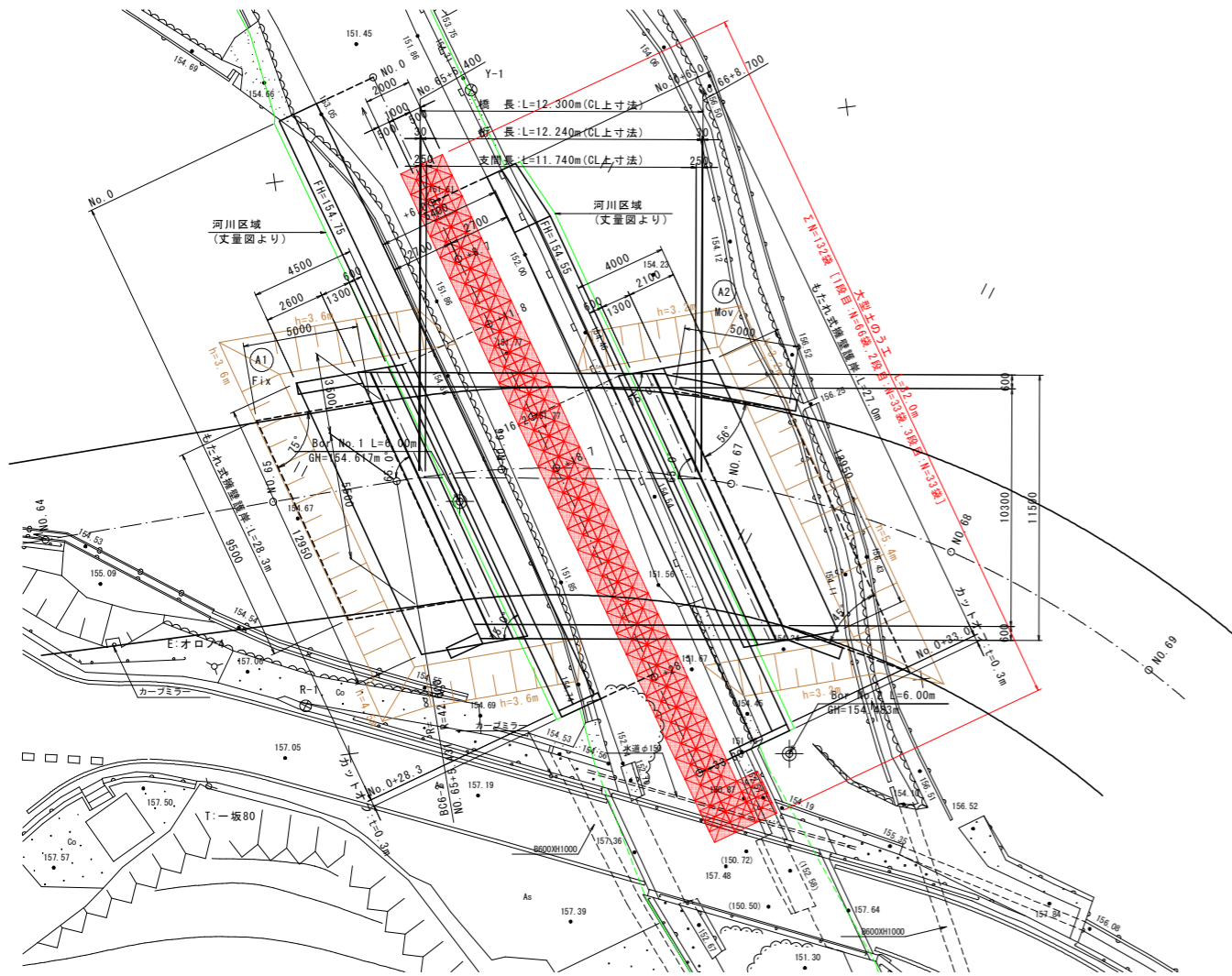
実施設計図面

工事名	R8徳土 鬼籠野国府線 神・鬼籠野一ノ坂 橋梁下部工事 (1) (着指)		
路線名等	鬼籠野国府線		
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野字一ノ坂 (第1分割)		
図面名	裏込め工詳細図		
縮尺	S=1:100	図面番号	15 / 16
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

仮設計画図(参考図) S=1:100

(右岸側施工時:大型土のう工)

配置図 2 S=1:150 (右岸側施工時)



設計条件:もたれ式擁壁護岸

擁壁本体	擁壁高	H≤4.0m
	コンクリート設計基準強度	σ _{ck} ≥18N/mm ²
	コンクリート単位体積重量	γ _c =23.0kN/m ³
荷重	上載荷重	q=0.0kN/m ² (耕作地のため無し)
	水位	H=2.95m(HWL:h=1.8m)
盛土材	種別	硬質土:C1材相当(購入土)
	単位体積重量	γ _t =20.0kN/m ³
	内部摩擦角	φ=35.0°
	粘着力	c=0.0kN/m ²
支持地盤	種別	軟岩:D級~CL級(調査ボーリング結果)
	摩擦係数	μ=0.70(岩盤)
	付着力	c=0.0kN/m ²
	地盤反力度	qa=300.0kN/m ² (軟岩)
設計基準	(社)日本道路協会:道路土工 擁壁工指針 平成24年7月	

留意事項
 1. 設計条件を変更する場合は、監督員と協議を行い設計計算を実施すること。
 2. 盛土材は、設計定数を満足する材料を使用すること。
 (購入土以外の場合は、土質試験を実施し設計定数を確認すること。)

河川条件

検討年度	令和2年度
河川名	大地谷川
指定地等	指定地等該当なし
確率年	1/30
計画流量	Q=50m ³ /sec (Q=49.9m ³ /sec)
河床勾配	i=1/100
粗度係数	コンクリート:0.015 河床:0.027
計画高水位	H=1.80m (H=1.721m)
余裕高	h=0.60m (Q<200m ³ /sec)

実施設計図面

工事名	R8徳土 鬼籠野国府線 神・鬼籠野一ノ坂橋梁下部工事(1)(着指)		
路線名等	鬼籠野国府線		
工事箇所	名西郡神山町鬼籠野字一ノ坂(第1分割)		
図面名	仮設計画図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	16 / 16
会社名			
事業者名	徳島県土整備事務所		

※1 もたれ式擁壁護岸背面と橋台前面との離隔は、施工誤差等を考慮してW=50mm以上確保した。
 ※2 堤防天端幅に相当する幅。(Q=50m³/sec<500m³/sec)
 ※3 支持地盤(基盤岩)との掘入れはh=50cm以上確保した。